

総合公務員学科（1年課程）1年次

第 1 学 年							
科目 区分	科 目 整理番号	授業科目	授業形態	必修の別	時間数	単位数	実務教員 科 目
一般 科 目	001	適性検査演習Ⅰ	演習	必修	30	2	
	002	社会人総合演習Ⅰ	演習	必修	30	1	○
	003	電卓技能	演習	必修	30	1	
専門 科 目	004	基礎国語	講義	選必	30	1	
	005	基礎数学	講義	選必	120	4	
	006	応用数学	演習	選必	30	1	
	007	基礎社会	講義	選必	90	3	
	008	基礎社会Ⅱ	講義	選必	30	1	
	009	基礎国語演習	演習	選必	30	1	
	010	基礎数学演習	演習	選必	90	3	
	011	基礎社会演習	演習	選必	60	2	
	012	社会人基礎Ⅰ	講義	選必	90	4	
	013	社会人基礎Ⅱ	講義	選必	60	2	
	014	社会人総合演習Ⅱ	演習	選必	30	1	
	015	適性検査演習Ⅱ	演習	選必	60	2	
	016	商業簿記Ⅲ	講義	選必	90	3	
	017	公務員基礎知識Ⅰ	講義	選必	90	4	
	018	基礎国語Ⅰ	講義	選必	30	1	
	019	基礎数的Ⅰ	講義	選必	90	3	
	020	基礎数的A	講義	選必	60	2	
	021	社会科学Ⅰ	講義	選必	90	3	
	022	社会科学A	講義	選必	30	1	
	023	総合演習A	演習	選必	90	3	
	024	文書処理技能Ⅰ	演習	選必	30	1	○
	025	コミュニケーション能力Ⅰ	演習	選必	60	2	
	026	コミュニケーション能力A	演習	選必	90	3	
	027	適性検査演習Ⅲ	演習	選必	30	2	
	028	基礎国語Ⅱ	講義	選必	30	1	
	029	基礎数的Ⅱ	講義	選必	90	3	
	030	基礎数的B	講義	選必	60	2	
	031	社会科学Ⅱ	講義	選必	90	3	
	032	社会科学B	講義	選必	30	1	
	033	総合演習B	演習	選必	90	3	
	034	応用国語演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
	035	応用数的演習Ⅰ	演習	選必	120	4	
	036	応用数的演習A	演習	選必	90	3	
	037	社会科学演習	演習	選必	60	2	
	038	社会科学演習A	演習	選必	30	1	

039	人文科学Ⅰ	講義	選必	30	1	
040	人文科学A	講義	選必	60	2	
041	人文科学Ⅱ	講義	選必	30	1	
042	適性検査演習Ⅳ	演習	選必	30	2	
043	基礎国語演習Ⅰ	演習	選必	30	1	
044	基礎数の演習	演習	選必	60	2	
045	憲法概論	講義	選必	60	2	
046	憲法演習	演習	選必	60	2	
047	民法概論	講義	選必	90	3	
048	民法演習	演習	選必	90	3	
049	行政法概論	講義	選必	60	2	
050	行政法演習	演習	選必	60	2	
051	社会学	講義	選必	30	1	
052	ミクロ経済学	講義	選必	60	2	
053	ミクロ経済学演習	演習	選必	60	2	
054	マクロ経済学	講義	選必	60	2	
055	マクロ経済学演習	演習	選必	90	3	
056	財政学	講義	選必	30	1	
057	プレゼンテーション能力Ⅰ	演習	選必	30	1	○
058	公会計	講義	選択	30	1	
059	応用自然科学演習	演習	選必	30	1	
1 学年合計授業時間数・取得単位数				900	32	

(備考)

選必は選択必修科目であり、810時間以上を選択し履修規程に従い履修しなければならない。

001.適性検査演習Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	適性検査演習Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		必修			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		30時間			
			単位数		2単位			
科目教員	吉沢康太		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:		%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		行政事務の基本となる「事務処理能力」を向上させ、事務官として職務を遂行できる能力を身に付けることを授業目的とする。公務員試験で出題される適性試験に対応した問題集を使用し、反復練習を繰り返すことで事務処理能力を定着させ、事務官として職務を遂行できる人物となることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容				科目教員			
第1回	適性検査、性格検査の目的と形式について				吉沢康太			
第2回	適性検査、性格検査について				吉沢康太			
第3回	適性検査、性格検査の練習方法①				吉沢康太			
第4回	適性検査、性格検査の練習方法②				吉沢康太			
第5回	適性検査の種類（照合①）				吉沢康太			
第6回	適性検査の種類（照合②）				吉沢康太			
第7回	適性検査の種類（照合③）				吉沢康太			
第8回	適性検査の種類（照合④）				吉沢康太			
第9回	適性検査の種類（分類①）				吉沢康太			
第10回	適性検査の種類（分類②）				吉沢康太			
第11回	適性検査の種類（分類③）				吉沢康太			

第12回	適性検査の種類（分類④）	吉沢康太
第13回	適性検査の種類（計算①）	吉沢康太
第14回	適性検査の種類（計算②）	吉沢康太
第15回	適性検査の種類（計算③）	吉沢康太
第16回	適性検査の種類（計算④）	吉沢康太
第17回	適性検査の種類（置換①）	吉沢康太
第18回	適性検査の種類（置換②）	吉沢康太
第19回	適性検査の種類（置換③）	吉沢康太
第20回	適性検査の種類（置換④）	吉沢康太
第21回	適性検査の種類（図形①）	吉沢康太
第22回	適性検査の種類（図形②）	吉沢康太
第23回	適性検査の種類（図形③）	吉沢康太
第24回	適性検査の種類（図形④）	吉沢康太
第25回	適性検査の種類（複合①）	吉沢康太
第26回	適性検査の種類（複合②）	吉沢康太
第27回	適性検査の種類（複合③）	吉沢康太
第28回	適性検査の種類（複合④）	吉沢康太
第29回	適性検査の種類（複合⑤）	吉沢康太
第30回	適性検査の種類（複合⑥）	吉沢康太
準備学習等	事前準備は不要だが、間違えた問題や時間内に解答できなかった問題の復習を行い、弱点克服に努めてほしい。	
教科書 参考書等	TEXT適性試験、実戦問題集適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。問題の自己採点ややり直しも時間を含み、授業1回あたり1時間を想定している。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

002.社会人総合演習Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	社会人総合演習Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		必修			
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	佐々木 謙、吉沢康太		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	レポート		:	50	%
				平常点		:	50	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員		佐々木 謙				:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容		公務員として働いていく為に必要な倫理、規律、ルールがあるが、それがなぜ必要であるのか教授する。また、地方公共団体等の研修で利用されている教材を用い、実務経験教員が担当教員に対してレクチャーを行う。さらに、過去の経験から、地方行政にどういった人材が求められているか、求められる人材になるためにはどんな知識が必要であるか教授する。						
実務経験教員の 実務経験内容		仙台市職員として長年勤務、副市長も歴任。地下鉄建設やスポーツチーム誘致など、様々な場面で地方行政に携わった。						
授業目的 到達目標		公務員として働いていく為に必要な倫理、規律、ルールがあるが、それがなぜ必要であるのか教授する。また、地方公共団体等の研修で利用されている教材を用い、実務経験教員が担当教員に対してレクチャーを行う。さらに、過去の経験から、地方行政にどういった人材が求められているか、求められる人材になるためにはどんな知識が必要であるか教授する。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	公務員倫理基礎①					佐々木謙 吉沢康太		
第2回	公務員倫理基礎②					佐々木謙 吉沢康太		
第3回	公務員倫理基礎③					佐々木謙 吉沢康太		
第4回	公務員倫理基礎④					佐々木謙 吉沢康太		
第5回	公務員倫理基礎⑤					佐々木謙 吉沢康太		
第6回	公務員倫理基礎⑥					佐々木謙 吉沢康太		
第7回	公務員倫理基礎⑦					佐々木謙 吉沢康太		

第8回	公務員倫理基礎⑧	佐々木謙 吉沢康太
第9回	公務員倫理基礎⑨	佐々木謙 吉沢康太
第10回	公務員倫理基礎⑩	佐々木謙 吉沢康太
第11回	公務員倫理実践①	佐々木謙 吉沢康太
第12回	公務員倫理実践②	佐々木謙 吉沢康太
第13回	公務員倫理実践③	佐々木謙 吉沢康太
第14回	公務員倫理実践④	佐々木謙 吉沢康太
第15回	公務員倫理実践⑤	佐々木謙 吉沢康太
第16回	公務員倫理実践⑥	佐々木謙 吉沢康太
第17回	公務員倫理実践⑦	佐々木謙 吉沢康太
第18回	公務員倫理実践⑧	佐々木謙 吉沢康太
第19回	公務員倫理実践⑨	佐々木謙 吉沢康太
第20回	公務員倫理実践⑩	佐々木謙 吉沢康太
第21回	公務員倫理実践⑪	佐々木謙 吉沢康太
第22回	公務員倫理実践⑫	佐々木謙 吉沢康太
第23回	公務員倫理実践⑬	佐々木謙 吉沢康太
第24回	グループディスカッションの進め方と注意すべき点について	佐々木謙 吉沢康太
第25回	グループディスカッション①	佐々木謙 吉沢康太
第26回	グループディスカッション②	佐々木謙 吉沢康太
第27回	グループディスカッション③	佐々木謙 吉沢康太
第28回	グループディスカッション④	佐々木謙 吉沢康太

第29回	グループディスカッション⑤	佐々木謙 吉沢康太
第30回	公務員として働くために	
準備学習等	講義後、その内容を元にした課題やレポートの提出を行い、成績を評価する。レポートについては授業中にもある程度記入する時間を設けるが、時間内に終わらなかった分については各自取り組み、後日必ず提出すること。	
教科書 参考書等	公務員倫理を考えるオンデマンド版（株式会社時事通信出版局）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。（グループディスカッションなどオンデマンド形式での提供ができない場合は除く）授業1回あたり1時間を想定している。	

003.電卓技能		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	電卓技能		授業形態		演習			
			選必の別		必修			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	吉沢康太		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	実技試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		電卓技能の基礎を習得することを目的とする。知識や技能の習得のみに留まらず、将来 関わるであろう業務の遂行を意識しながら、正確さや迅速さを追求した事務処理能力の 向上を目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	電卓の基礎知識とキータッチの練習					吉沢康太		
第2回	加減算・見取り算練習					吉沢康太		
第3回	乗算・除算練習					吉沢康太		
第4回	伝票算練習					吉沢康太		
第5回	検定対策					吉沢康太		
第6回	検定対策					吉沢康太		
第7回	検定対策					吉沢康太		
第8回	検定対策					吉沢康太		
第9回	検定対策					吉沢康太		
第10回	検定対策					吉沢康太		

第11回	検定対策	吉沢康太
第12回	検定対策	吉沢康太
第13回	検定対策	吉沢康太
第14回	検定対策	吉沢康太
第15回	検定対策	吉沢康太
準備学習等	基本的に予習は不要。各自の電卓技能の習熟度に応じた自主的な演習の時間の確保が必要である。	
教科書 参考書等	電卓マスター講座 基本操作レクチャー講義レジュメ（大原出版） 電卓技能検定試験問題集、伝票算問題集（大原出版）※受験級に応じて各自購入	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

004.基礎国語		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎国語		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	蜂谷 志穂 伊藤 江里子		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験の受験に必要な文章理解・国語の基礎項目を理解し、基本問題を確実に得点できる能力を身に付けることを目的とする。文章理解においては、まず問題を解く際の基本的な考え方を理解した上で例題に取り組み、正しい解き方を身に付ける。さらに、それを前提に様々なパターンの問題に触れて、パターン別の解き方のコツを掴み、基礎レベルの問題を確実に得点できることを到達目標とする。また、国語においては、頻出分野の問題演習を行い、基本的知識を習得することを到達目標とする。さらにこの科目では、公務員試験で実施される作文試験の対策も行う。まずは採点のポイントを理解し、それぞれの分野における基本項目を学ぶことを目的とする。それを踏まえた上で、合格答案を作成できることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	主旨・要旨把握問題①、漢字①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第2回	主旨・要旨把握問題②、漢字②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第3回	主旨・要旨把握問題③、漢字③					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第4回	主旨・要旨把握問題④、文法・敬語①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第5回	主旨・要旨把握問題⑤、文法・敬語②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第6回	主旨・要旨把握問題⑥、文法・敬語③					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第7回	主旨・要旨把握問題⑦、四字熟語①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		

第8回	内容合致問題①、四字熟語②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	内容合致問題②、四字熟語③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	文章整序問題①、四字熟語④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第11回	文章整序問題②、ことわざ・故事成語①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第12回	空欄補充問題①、ことわざ・故事成語②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第13回	空欄補充問題②、ことわざ・故事成語③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第14回	作文入門①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第15回	作文入門②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する可能性がある。 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。	

005.基礎数学		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1学年					
科目名	基礎数学		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		120時間		
				単位数		4単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		60回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）のうち、特に数的推理と判断推理について基礎的な知識の習得を図ることが授業目的となる。 「数的推理」分野では、問題を解くうえで欠かせない公式の習得およびそれを元に基礎的な問題に対応できるようになること、「判断推理」分野では、条件を正確に読み取り、論理的に組み立てることができるようになることをそれぞれ到達目標とする。理解度を高めるために類似問題の演習時間を設け、苦手箇所の解説を行っていく。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	数と文字式の計算（１）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第2回	数と文字式の計算（２）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第3回	方程式（１）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第4回	方程式（２）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第5回	不等式（１）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第6回	不等式（２）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第7回	整数（１）（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		

第8回	整数（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	計算パズル（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	計算パズル（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	割合（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	割合（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	比（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	比（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	速さ（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	速さ（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	速さ（３）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	速さ（４）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	その他の文章題（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	その他の文章題（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	場合の数（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	場合の数（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	確率（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	確率（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	問題演習（１）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	問題演習（２）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	問題演習（３）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第28回	問題演習（４）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	問題演習（５）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	問題演習（６）（数的推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第31回	論理（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第32回	論理（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第33回	集合の要素（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第34回	集合の要素（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第35回	順序（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第36回	順序（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第37回	順序（３）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第38回	位置（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第39回	位置（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第40回	方位（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第41回	方位（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第42回	対応（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第43回	対応（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第44回	勝敗（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第45回	勝敗（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第46回	うそつき（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第47回	うそつき（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第48回	ウソの発言（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第49回	暗号（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第50回	暗号（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第51回	推理（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第52回	推理（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第53回	手順（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第54回	手順（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第55回	問題演習（１）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第56回	問題演習（２）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第57回	問題演習（３）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第58回	問題演習（４）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第59回	問題演習（５）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第60回	問題演習（６）（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	公務員試験合格の為には、基礎数学における内容の習熟は必須であり、今後の演習問題 読解においても重要な科目となっていることを意識し日々の復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	数的推理 問題編、判断推理 問題編、スタンダード問題集・解答解説（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合 がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供す る可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。習熟度の確認 の為、定期的にウィークリーチェックを実施する。なお、問題演習にはその解説の時間 も含まれる。	

006.応用数学		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1学年					
科目名	応用数学		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		15回			
			成績評価方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員					:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈）のうち、特に図形・資料解釈の分野について、基礎的な知識の習得を図ることが授業目的となる。 「図形」分野では、様々な形を正確にとらえ正答を導けるようになること、「資料解釈」では、資料を正しく読み取る読解力、解析力を習得することをそれぞれ到達目標とする。理解度を高めるため、類似問題を解く演習の時間を設け、苦手箇所の解説を行っていく。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	回転（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第2回	軌跡（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第3回	道順（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第4回	一筆書き（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第5回	位相（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第6回	平面構成（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第7回	正多面体（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		

第8回	展開図（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	立体構成（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	平面図形の計量（１）（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	平面図形の計量（２）（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	立体図形の計量（１）（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	立体図形の計量（２）（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	資料解釈（１）（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	資料解釈（２）（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	公務員試験合格の為に、応用数学における内容の習熟は必須であり今後の演習問題読解においても重要な科目となっていることを意識し、日々の復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	図形・資料解釈 問題編、スタンダード問題集・解答解説（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。習熟度の確認の為、定期的にウィークリーチェックを実施する。なお、問題演習にはその解説の時間も含まれる。	

007.基礎社会		学科	行政公務員学科(1年課程)・法律公務員学科(1年課程)・ 総合公務員学科(1年課程)					
		学年	1 学年					
科目名	基礎社会		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間		
				単位数		3単位		
科目教員	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸		授業回数		45回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される分野である社会科学(政治・経済・社会)及び人文科学(日本史・世界史)について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業においてさらなる知識の習熟を目指す。 政治・経済・社会分野では、公務員試験の出題傾向を把握し合格レベルに到達できるようになること、日本史分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、世界史分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになることをそれぞれ到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	【政治】 政治の基本理念 政治制度論						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	
第2回	【日本史】 ガイダンス 原始 先土器・縄文・弥生時代 古代① 大和政権・聖徳太子						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	
第3回	【政治】 政治過程論						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	
第4回	【日本史】 古代② 大化の改新・律令制度 古代③ 律令制度・班田収授法・租庸調						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	
第5回	【政治】 日本国憲法の特徴 基本的人権総論 包括的基本権						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	
第6回	【日本史】 古代④ 奈良時代・初期荘園・天平文化 古代⑤ 平安時代・律令政治の再建						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	
第7回	【政治】 平等権 精神的自由権						吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸	

第8回	【日本史】 古代⑥ 平安時代・摂関政治 古代⑦ 平安時代・寄進地系荘園	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第9回	【政治】 経済的自由権 人身の自由	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第10回	【政治】 社会権 能動的権利と受益権	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第11回	【日本史】 古代⑧ 平安時代・武士の起こり 古代⑨ 平安時代 院政	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第12回	【政治】 憲法改正の手続 国会の機構と運営	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第13回	【日本史】 中世① 鎌倉時代・源平の争乱 中世② 鎌倉時代・鎌倉幕府の成立	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第14回	【政治】 内閣の機構と運営	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第15回	【日本史】 中世③ 鎌倉時代・執権政治 中世④ 鎌倉時代 元寇・幕府の衰退	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第16回	【政治】 裁判所の機構と運営	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第17回	【日本史】 中世⑤ 室町時代・室町幕府の成立 中世⑥ 室町時代・日明貿易・戦国時代	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第18回	【政治】 地方自治	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第19回	【経済】 経済社会の変容と経済体制	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第20回	【日本史】 近世① 安土桃山時代・織豊政権・南蛮貿易 近世② 安土桃山時代・太閤検地・江戸幕府の成立	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第21回	【経済】 現代の企業	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第22回	【日本史】 近世③ 江戸時代・幕藩体制・鎖国政策 近世④ 文治政治・正徳の治	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第23回	【経済】 現代の市場	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第24回	【日本史】 近世⑤ 享保の改革・田沼政治 近世⑥ 寛政の改革・大御所時代・天保の改革	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第25回	【経済】 国民所得	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第26回	【日本史】 近代① 明治時代 幕末・明治維新 近代② 明治時代・明治初期の外交・自由民権運動	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第27回	【経済】 経済成長と景気循環	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第28回	【経済】 通貨制度と金融政策	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第29回	【日本史】 近代③ 明治時代 日清戦争・日露戦争 近代④ 大正時代 第一次世界大戦・大正デモクラシー	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第30回	【経済】 財政制度と財政政策	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸

第31回	【日本史】 近代⑤ 昭和時代 政党内閣・満州事変・第二次世界大戦 現代① 戦後の民主化及び内閣	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第32回	【経済】 貿易と外国為替	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第33回	【日本史】 文化史① 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化 ・国風文化・院政期の文化・鎌倉文化	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第34回	【経済】 日本経済の動向	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第35回	【日本史】 文化史② 南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化 ・寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第36回	【経済】 国際経済の動向	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第37回	【社会】 社会理論	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第38回	【世界史】 東洋史① 殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第39回	【社会】 労働問題	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第40回	【世界史】 東洋史② 魏・晋・南北朝・隋・唐・宋	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第41回	【社会】 社会保障	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第42回	【世界史】 東洋史③ 元・明・清	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第43回	【社会】 環境問題	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第44回	【世界史】 東洋史④ 清末	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
第45回	【社会】 国際関係	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意すること。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト 政治(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-問題編(大原出版)、 テキスト 経済(大原出版)、スタンダード問題集 社会科学-解答・解説編(大原出版)、 テキスト 社会(大原出版)、テキスト 日本史・世界史(大原出版)、レジュメ 日本史・ 世界史(大原出版)、スタンダード問題集 人文科学-問題編(大原出版)、スタンダード問 題集 人文科学-解答・解説編(大原出版) Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

008.基礎社会Ⅱ		学科	行政公務員学科(1年課程)・法律公務員学科(1年課程)・ 総合公務員学科(1年課程)				
		学年	1 学年				
科目名	基礎社会Ⅱ		授業形態		講義		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間	
				単位数		1単位	
科目教員	佐藤弘章		授業回数		15回		
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70%
				平常点		:	30%
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員						:	%
						:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される分野である地理について、基礎的な知識の習得を図り今後の 演習授業において更なる知識の習熟を目指す。日本のみならず世界情勢についても理解 を深め、最終的には公務員試験一次試験を合格できる知識を身につけることを到達目標 としている。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	世界の地形					佐藤弘章	
第2回	平野と海岸の地形					佐藤弘章	
第3回	特殊な地形と海洋					佐藤弘章	
第4回	世界の気候・植生・土壌					佐藤弘章	
第5回	気候区分					佐藤弘章	
第6回	ハイサーグラフ・地図の特色と利用					佐藤弘章	
第7回	アジア・ヨーロッパの農牧業					佐藤弘章	
第8回	アメリカの農牧業・世界の漁場					佐藤弘章	
第9回	エネルギー資源と原料資源					佐藤弘章	

第10回	世界の工業地域（ヨーロッパ）	佐藤弘章
第11回	世界の工業地域（アメリカ・中国）	佐藤弘章
第12回	生活と地域	佐藤弘章
第13回	日本の地理（国土・気候・海流）	佐藤弘章
第14回	日本の地理（農業・漁業・工業）	佐藤弘章
第15回	日本の地理（諸地域）	佐藤弘章
準備学習等	日々の復習による知識の定着を勧める。公務員試験合格のためには重要な科目となっているため、日々の授業や復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	地理 テキスト・ドリル（大原出版）、新詳高等地図（帝国書院）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・ 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・ 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

009.基礎国語演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎国語演習		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	蜂谷 志穂 伊藤 江里子		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される文章理解、国語の標準レベルの問題を確実に得点できる能力を身に付けることを目的とする。文章理解においては、基礎国語で習得した「問題を解く際の正しい考え方」を前提に様々な問題を解き、パターン別の解き方のコツを掴み、受験時における標準レベルの問題を確実に得点できるようになることを到達目標とする。また、国語においては、頻出分野について基礎国語から引き続き問題演習を行い、基礎国語で学んだ数よりもさらに豊富な知識を習得することを到達目標とする。さらに、基礎国語に引き続き、作文対策も行う。基礎国語で学んだ採点のポイントを踏まえ、答案作成することを目的とする。その上で、頻出するテーマにおいて合格答案を作成できることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	主旨・要旨把握問題（標準問題）①、漢字（標準レベル）①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第2回	主旨・要旨把握問題（標準問題）②、漢字（標準レベル）②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第3回	主旨・要旨把握問題（標準問題）③、漢字（標準レベル）③					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第4回	主旨・要旨把握問題（標準問題）④、文法・敬語（標準レベル）①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第5回	主旨・要旨把握問題（標準問題）⑤、文法・敬語（標準レベル）②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第6回	内容合致問題（標準問題）①、四字熟語（標準レベル）①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第7回	内容合致問題（標準問題）②、四字熟語（標準レベル）②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		

第8回	文章整序問題（標準問題）①、四字熟語（標準レベル）③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	文章整序問題（標準問題）②、四字熟語（標準レベル）④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	文章整序問題（標準問題）③、ことわざ・故事成語（標準レベル）①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第11回	空欄補充問題（標準問題）①、ことわざ・故事成語（標準レベル）②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第12回	空欄補充問題（標準問題）②、ことわざ・故事成語（標準レベル）③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第13回	空欄補充問題（標準問題）③、ことわざ・故事成語（標準レベル）④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第14回	作文作成①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第15回	作文作成②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	スタンダード問題集文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

010.基礎数学演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎数学演習		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間		
				単位数		3単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		45回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:		%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される分野である数的処理（数的推理、判断推理、図形・資料解釈） の問題の傾向をつかみ、様々な問題に対応できるようになることが授業目的となる。 全範囲対応の問題集および模擬試験を用いて演習、解説を中心とした授業を行い、そ の問題にあった適切な解法を自分で見つけられるようになることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第2回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第3回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第4回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第5回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第6回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第7回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第8回	問題演習（数的推理総復習）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		

第9回	問題演習（数の推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	問題演習（数の推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	問題演習（数の推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	問題演習（数の推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	問題演習（数の推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	問題演習（判断推理総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第29回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第31回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第32回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第33回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第34回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第35回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第36回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第37回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第38回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第39回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第40回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第41回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第42回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第43回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第44回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第45回	問題演習（図形・資料解釈総復習）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	数的処理全範囲での問題演習となるため、基礎的な知識が不足していると感じた場合は速やかに過去の授業の復習を行うこと。	
教科書 参考書等	スタンダード問題集・解答解説、公務員試験模擬試験・解説（大原出版） 公務員希望者用模擬試験（実務教育出版）・Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

011.基礎社会演習		学科	行政公務員学科（1年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（1年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎社会演習		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間		
				単位数		2単位		
科目教員	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		模擬試験形式の教材を使い、実際の公務員試験に対応可能な幅広い知識と解法を身に付けることを目的とする。政治・経済・社会分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになること、日本史分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、世界史分野では、東洋史とりわけ中国史について、公務員試験に出題された範囲を中心に知識を習得し、正答を導き出せるようになること、地理分野では、公務員試験に出題された範囲を中心に学習を深めることで、合格レベルに到達できるようになることをそれぞれ到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	模擬試験① 政治の基本概念、原始時代、世界の地形					吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		
第2回	模擬試験② 政治制度論・政治過程論、飛鳥時代、平野と海岸の地形					吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		
第3回	模擬試験③ 日本国憲法の特色、奈良時代、特殊な地形と海洋					吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		
第4回	模擬試験④ 基本的人権総論、平安時代①、世界の風					吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		
第5回	模擬試験⑤ 包括的基本権、平安時代②、世界の植生・土壌					吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		
第6回	模擬試験⑥ 平等権、鎌倉時代①、世界の気候					吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章		

第7回	模擬試験⑦ 精神的自由権・経済的自由権、鎌倉時代②、 雨温図とハイサーグラフ	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第8回	模擬試験⑧ 人身の自由、室町時代①、地図の特色と利用	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第9回	模擬試験⑨ 社会権・能動的権利と受益権、室町時代②、資源・産業	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第10回	模擬試験⑩ 憲法改正の手続、室町時代③、食料の生産と消費	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第11回	模擬試験⑪ 国会の機構と運営、安土桃山時代、アジアの農牧業	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第12回	模擬試験⑫ 内閣の機構と運営、江戸時代①、ヨーロッパの農牧業	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第13回	模擬試験⑬ 裁判所の機構と運営、江戸時代②、アメリカの農牧業と漁業	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第14回	模擬試験⑭ 地方自治、江戸時代③、エネルギー資源(石炭)	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第15回	模擬試験⑮ 現代の企業・現代の市場、江戸時代④、エネルギー資源(石油)	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第16回	模擬試験⑯ 国民所得、江戸時代⑤、エネルギー資源(鉄山)	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第17回	模擬試験⑰ 経済成長と景気循環、江戸時代⑥、世界の電力	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第18回	模擬試験⑱ 通貨制度と金融政策、江戸時代⑦、工業化と工業地域	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第19回	模擬試験⑲ 財政制度と財政政策、明治時代①、 世界の工業地域(ヨーロッパ)	世 吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第20回	模擬試験⑳ 貿易と外国為替、明治時代②、 世界の工業地域(アメリカ・中国)	世 吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第21回	模擬試験㉑ 日本経済の動向、明治時代③、村落と都市	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第22回	模擬試験㉒ 国際経済の動向、明治時代④、人口の地域的特色	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第23回	模擬試験㉓ 現代社会・パーソナリティ、大正時代、国土と住民	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第24回	模擬試験㉔ 労働法規、昭和時代①、交通・通信と貿易	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第25回	模擬試験㉕ 日本の労働状況、昭和時代②、世界の環境問題	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第26回	模擬試験㉖ 社会保障の状況、昭和時代③、日本の国土	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第27回	模擬試験㉗ 医療保険制度・年金制度の改革、中国史①（殷～後漢）、 日本の自然環境	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章

第28回	模擬試験⑳ 日本の環境問題、中国史②（三国時代～宋）、日本の人口	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第29回	模擬試験㉑ 地球環境問題、中国史③(元～明)、日本の産業	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
第30回	模擬試験㉒ 国際関係、中国史④(清)、日本の諸地域	吉沢康太、蜂谷志穂 今野洸、佐藤弘章
準備学習等	講義開始日までに各自ノートを用意すること。各回の講義終了後は、テキストやレジュメ、模擬試験等を使用して各自復習しておくこと。	
教科書 参考書等	テキスト(政治・経済・社会・日本史・世界史・地理)、公務員試験模擬問題・解説(大原出版)、レジュメ(日本史・世界史・地理)、ドリル(日本史・世界史・地理)、地図帳(帝国書院)、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名		社会人基礎Ⅰ		授業形態		講義			
				選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		90時間		
					単位数		4単位		
科目教員		吉沢康太		授業回数		45回			
				成績評価方法	レポート		:	50	%
					平常点		:	50	%
							:		%
							:		%
科目教員のうち 実務経験教員							:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容									
実務経験教員の 実務経験内容									
授業目的 到達目標			社会人になるにあたって必要な、他者との相互理解やコミュニケーション能力を身に付けること、そして自分の意見を相手に伝えられるようになることが授業目的となる。そのため、職種研究により志望先への理解を深め、校外研修を通じて積極的に他者と関わることを促し、自己分析と模擬面接練習を繰り返して、自らを表現するための能力を磨いていく。それらが身に付いた状態となることを到達目標とする。						
授業計画									
回数		授業内容					科目教員		
第1回		職種研究①					吉沢康太		
第2回		職種研究②					吉沢康太		
第3回		職種研究③					吉沢康太		
第4回		職種研究④					吉沢康太		
第5回		職種研究⑤					吉沢康太		
第6回		自己分析の進め方、自己分析シート作成①					吉沢康太		
第7回		自己分析シート作成②					吉沢康太		
第8回		自己分析シート作成③					吉沢康太		
第9回		自己分析シート作成④					吉沢康太		

第10回	自己分析シート作成⑤	吉沢康太
第11回	入退室と立ち振る舞い、面接時に注意すべきこと	吉沢康太
第12回	面接想定シート作成①	吉沢康太
第13回	面接想定シート作成②	吉沢康太
第14回	面接想定シート作成③	吉沢康太
第15回	面接想定シート作成④	吉沢康太
第16回	面接想定シート作成⑤	吉沢康太
第17回	模擬面接①	吉沢康太
第18回	模擬面接②	吉沢康太
第19回	模擬面接③	吉沢康太
第20回	模擬面接④	吉沢康太
第21回	模擬面接⑤	吉沢康太
第22回	模擬面接⑥	吉沢康太
第23回	模擬面接⑦	吉沢康太
第24回	模擬面接⑧	吉沢康太
第25回	模擬面接⑨	吉沢康太
第26回	模擬面接⑩	吉沢康太
第27回	模擬面接⑪	吉沢康太
第28回	模擬面接⑫	吉沢康太
第29回	模擬面接⑬	吉沢康太
第30回	模擬面接⑭	吉沢康太

第31回	模擬面接⑮	吉沢康太
第32回	模擬面接⑯	吉沢康太
第33回	模擬面接⑰	吉沢康太
第34回	模擬面接⑱	吉沢康太
第35回	模擬面接⑲	吉沢康太
第36回	模擬面接⑳	吉沢康太
第37回	校外研修及びその準備作業①	吉沢康太
第38回	校外研修及びその準備作業②	吉沢康太
第39回	校外研修及びその準備作業③	吉沢康太
第40回	校外研修及びその準備作業④	吉沢康太
第41回	校外研修及びその準備作業⑤	吉沢康太
第42回	校外研修及びその準備作業⑥	吉沢康太
第43回	校外研修及びその準備作業⑦	吉沢康太
第44回	校外研修及びその準備作業⑧	吉沢康太
第45回	校外研修及びその準備作業⑨	吉沢康太
準備学習等	レポートは自分で記入するもの以外に、面接練習を面接官役が評価したものも含まれる。成績評価に影響するため、提出期限やレポートの紛失に気を付けること。	
教科書 参考書等	テキスト面接試験対策（大原出版）、他配布プリント多数	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。模擬面接及び校外研修では科目教員以外が補助として面接官役や引率役を務める場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名		社会人基礎Ⅱ		授業形態		講義			
				選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			有		授業時間数		60時間		
					単位数		2単位		
科目教員		吉沢康太、大庄司文子		授業回数		30回			
				成績 評価 方法	評価試験		:	40	%
					実技試験		:	40	%
					平常点		:	20	%
		:			%				
科目教員のうち 実務経験教員			大庄司 文子				:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容			パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁におけるシステム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。						
実務経験教員の 実務経験内容			一般企業にて、OA機器インストラクション業務に従事していた。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。						
授業目的 到達目標			基礎的なパソコンスキルや電話応対など即戦力として活躍できる人材となることを授業目的とし、大原学園独自のPCP（プレ・キャリア・プログラム）の授業を中心に行っていく。文書作成ソフトの実践的な使用法を学ぶことで、ビジネス文書をスムーズに作成できるようになること、敬語などの正しい言葉遣いを用いてスムーズな電話応対ができるようになることを到達目標とする。						
授業計画									
回数		授業内容					科目教員		
第1回		文書作成ソフト（文字書式・拡張書式・段落書式）					吉沢康太 大庄司文子		
第2回		文書作成ソフト（タブとリーダー・段組み・箇条書き）					吉沢康太 大庄司文子		
第3回		文書作成ソフト（段落番号・ドロップキャップ・スタイル）					吉沢康太 大庄司文子		
第4回		文書作成ソフト（ページ設定と印刷設定）					吉沢康太 大庄司文子		
第5回		文書作成ソフト（テキスト編集・ヘッダーとフッター）					吉沢康太 大庄司文子		
第6回		文書作成ソフト（表のデザインとレイアウト）					吉沢康太 大庄司文子		
第7回		文書作成ソフト（オブジェクトの作成・図と図形の書式）					吉沢康太 大庄司文子		

第8回	文書作成ソフト（配置と整列）	吉沢康太 大庄司文子
第9回	文書作成練習問題①	吉沢康太 大庄司文子
第10回	文書作成練習問題②	吉沢康太 大庄司文子
第11回	文書作成練習問題③	吉沢康太 大庄司文子
第12回	文書作成模擬問題①	吉沢康太 大庄司文子
第13回	文書作成模擬問題②	吉沢康太 大庄司文子
第14回	文書作成模擬問題③	吉沢康太 大庄司文子
第15回	文書作成模擬問題④	吉沢康太 大庄司文子
第16回	文書作成模擬問題⑤	吉沢康太 大庄司文子
第17回	文書作成模擬問題⑥	吉沢康太 大庄司文子
第18回	文書作成模擬問題⑦	吉沢康太 大庄司文子
第19回	職場のマナー（社会人の心構えと職場のマナー）	吉沢康太 大庄司文子
第20回	職場のマナー（仕事の進め方と報・連・相）	吉沢康太 大庄司文子
第21回	挨拶と敬語（挨拶の種類・笑顔・お辞儀）	吉沢康太 大庄司文子
第22回	挨拶と敬語（正しい敬語の使い方・応対の基本）	吉沢康太 大庄司文子
第23回	電話応対①（電話応対のマナー）	吉沢康太 大庄司文子
第24回	電話応対②（電話の受け方、かけ方）	吉沢康太 大庄司文子
第25回	電話応対③（状況別の電話応対）	吉沢康太 大庄司文子
第26回	効果測定①（敬語の基本・電話応対の基本）	吉沢康太 大庄司文子
第27回	効果測定②（状況別の電話応対）	吉沢康太 大庄司文子
第28回	効果測定③（電話応対実技）	吉沢康太 大庄司文子

第29回	文書作成過去問題演習①	吉沢康太 大庄司文子
第30回	文書作成過去問題演習②	吉沢康太 大庄司文子
準備学習等	予習は不要であるが、授業で進んだところまでの復習をしっかりと行うこと。パソコンを使っの授業が多いため、復習にあたって自宅にパソコンがない学生は校内のパソコン教室を使用しても良い。その場合は科目教員にあらかじめ申し出ること。	
教科書 参考書等	サーティファイWord文書処理技能認定試験3級問題集（株式会社ウィネット） サーティファイWord文書処理技能認定試験1.2級問題集（株式会社ウィネット） PCPビジネスマナー（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。また、パソコンを使用しない授業については状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会人総合演習Ⅱ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	吉沢康太		授業回数		30回			
			成績評価方法	課題・レポート		:	40	%
				小テスト		:	30	%
				平常点		:	30	%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員として必要な知識の習得、特に公務員試験の教養試験でも出題される時事用語に関する知識の向上を授業目的とする。社会全体で起こっている物事の把握はもちろん、自分の志望先に応じた授業を選択し、志望先に関わる知識を身に付けることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	時事問題（政治編①）						吉沢康太	
第2回	時事問題（政治編②）						吉沢康太	
第3回	時事問題（政治編③）						吉沢康太	
第4回	時事問題（政治編④）						吉沢康太	
第5回	時事問題（経済編①）						吉沢康太	
第6回	時事問題（経済編②）						吉沢康太	
第7回	時事問題（経済編③）						吉沢康太	
第8回	時事問題（経済編④）						吉沢康太	
第9回	時事問題（社会・文化編①）						吉沢康太	

第10回	時事問題（社会・文化編②）	吉沢康太
第11回	時事問題（社会・文化編③）	吉沢康太
第12回	時事問題（社会・文化編④）	吉沢康太
第13回	時事問題（科学・自然編①）	吉沢康太
第14回	時事問題（科学・自然編②）	吉沢康太
第15回	時事問題（科学・自然編③）	吉沢康太
第16回	時事問題（科学・自然編④）	吉沢康太
第17回	時事問題（国際編①）	吉沢康太
第18回	時事問題（国際編②）	吉沢康太
第19回	時事問題（国際編③）	吉沢康太
第20回	時事問題（国際編④）	吉沢康太
第21回	選択授業①	吉沢康太
第22回	選択授業②	吉沢康太
第23回	選択授業③	吉沢康太
第24回	選択授業④	吉沢康太
第25回	選択授業⑤	吉沢康太
第26回	選択授業⑥	吉沢康太
第27回	選択授業⑦	吉沢康太
第28回	選択授業⑧	吉沢康太
第29回	選択授業⑨	吉沢康太
第30回	選択授業⑩	吉沢康太

準備学習等	予習の必要はないが、選択授業実施の際にはレポートの事後提出を求めることが多い。期限までの提出を徹底すること。
教科書 参考書等	ロボット先生の公務員試験頻出時事（大原出版） 公務員試験速攻の時事（実務教育出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）
備考	選択授業は各種業務説明会、スーツセミナー、メイクアップセミナー、体力試験対策等の中から自分の進路希望に沿うものを選択し参加する形とする。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある（体力試験対策など提供が難しい場合は除く）。授業1回あたり1時間を想定している。

015.適性検査演習Ⅱ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	適性検査演習Ⅱ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間		
				単位数		2単位		
科目教員	吉沢康太		授業回数		60回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:		%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		適性検査演習Ⅰに引き続き、行政事務に携わる者の基本となる「事務処理能力」を向上 させ、事務官として職務を遂行することができる能力を身に付けることを目的とする。 適性検査演習Ⅰで学習したそれぞれの分野を併せた総合問題を解くことにより、事務処 理能力のさらなる向上を目指し、それを定着させ、事務官として職務を遂行すること ができる人材となることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	適性検査、性格検査問題演習 第1回					吉沢康太		
第2回	適性検査、性格検査問題演習 第2回					吉沢康太		
第3回	適性検査、性格検査問題演習 第3回					吉沢康太		
第4回	適性検査、性格検査問題演習 第4回					吉沢康太		
第5回	適性検査、性格検査問題演習 第5回					吉沢康太		
第6回	適性検査、性格検査問題演習 第6回					吉沢康太		
第7回	適性検査、性格検査問題演習 第7回					吉沢康太		
第8回	適性検査、性格検査問題演習 第8回					吉沢康太		
第9回	適性検査、性格検査問題演習 第9回					吉沢康太		
第10回	適性検査、性格検査問題演習 第10回					吉沢康太		

第11回	適性検査、性格検査問題演習 第11回	吉沢康太
第12回	適性検査、性格検査問題演習 第12回	吉沢康太
第13回	適性検査、性格検査問題演習 第13回	吉沢康太
第14回	適性検査、性格検査問題演習 第14回	吉沢康太
第15回	適性検査、性格検査問題演習 第15回	吉沢康太
第16回	適性検査、性格検査問題演習 第16回	吉沢康太
第17回	適性検査、性格検査問題演習 第17回	吉沢康太
第18回	適性検査、性格検査問題演習 第18回	吉沢康太
第19回	適性検査、性格検査問題演習 第19回	吉沢康太
第20回	適性検査、性格検査問題演習 第20回	吉沢康太
第21回	適性検査、性格検査問題演習 第21回	吉沢康太
第22回	適性検査、性格検査問題演習 第22回	吉沢康太
第23回	適性検査、性格検査問題演習 第23回	吉沢康太
第24回	適性検査、性格検査問題演習 第24回	吉沢康太
第25回	適性検査、性格検査問題演習 第25回	吉沢康太
第26回	適性検査、性格検査問題演習 第26回	吉沢康太
第27回	適性検査、性格検査問題演習 第27回	吉沢康太
第28回	適性検査、性格検査問題演習 第28回	吉沢康太
第29回	適性検査、性格検査問題演習 第29回	吉沢康太
第30回	適性検査、性格検査問題演習 第30回	吉沢康太
第31回	適性検査、性格検査問題演習 第31回	吉沢康太
第32回	適性検査、性格検査問題演習 第32回	吉沢康太
第33回	適性検査、性格検査問題演習 第33回	吉沢康太
第34回	適性検査、性格検査問題演習 第34回	吉沢康太

第35回	適性検査、性格検査問題演習 第35回	吉沢康太
第36回	適性検査、性格検査問題演習 第36回	吉沢康太
第37回	適性検査、性格検査問題演習 第37回	吉沢康太
第38回	適性検査、性格検査問題演習 第38回	吉沢康太
第39回	適性検査、性格検査問題演習 第39回	吉沢康太
第40回	適性検査、性格検査問題演習 第40回	吉沢康太
第41回	適性検査、性格検査問題演習 第41回	吉沢康太
第42回	適性検査、性格検査問題演習 第42回	吉沢康太
第43回	適性検査、性格検査問題演習 第43回	吉沢康太
第44回	適性検査、性格検査問題演習 第44回	吉沢康太
第45回	適性検査、性格検査問題演習 第45回	吉沢康太
第46回	適性検査、性格検査問題演習 第46回	吉沢康太
第47回	適性検査、性格検査問題演習 第47回	吉沢康太
第48回	適性検査、性格検査問題演習 第48回	吉沢康太
第49回	適性検査、性格検査問題演習 第49回	吉沢康太
第50回	適性検査、性格検査問題演習 第50回	吉沢康太
第51回	適性検査、性格検査問題演習 第51回	吉沢康太
第52回	適性検査、性格検査問題演習 第52回	吉沢康太
第53回	適性検査、性格検査問題演習 第53回	吉沢康太
第54回	適性検査、性格検査問題演習 第54回	吉沢康太
第55回	適性検査、性格検査問題演習 第55回	吉沢康太
第56回	適性検査、性格検査問題演習 第56回	吉沢康太
第57回	適性検査、性格検査問題演習 第57回	吉沢康太
第58回	適性検査、性格検査問題演習 第58回	吉沢康太

第59回	適性検査、性格検査問題演習 第59回	吉沢康太
第60回	適性検査、性格検査問題演習 第60回	吉沢康太
準備学習等	事前準備は不要だが、間違えた問題や時間内に解答できなかった問題の復習を行い、弱点克服に努めてほしい。	
教科書 参考書等	TEXT適性試験、実戦問題集適性試験（大原出版） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて一部変更する場合がある。問題の自己採点ややり直しも時間を含み、授業1回あたり1時間を想定している。また、映像等による配信授業を行う場合もある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	商業簿記Ⅲ		授業形態		講義					
			選必の別		選必					
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		90時間			
					単位数		3単位			
科目教員			吉沢康太		授業回数		45回			
					成績評価方法	筆記試験		:	70	%
						平常点		:	30	%
								:		%
								:		%
科目教員のうち 実務経験教員							:	%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容										
実務経験教員の 実務経験内容										
授業目的 到達目標			簿記の基本となる日々の取引の仕訳をできるようになること、決算処理を行い帳簿記入ができるようになることを主な授業目的とする。最終的に全国経理教育協会主催簿記検定3級に合格するレベルの知識を身に付けることが到達目標となる。なお、簿記の練習問題を解くにあたり電卓を使用するため、電卓の基本的な操作方法についても授業に含む。							
授業計画										
回数		授業内容					科目教員			
第1回		ガイダンス、簿記の目的、財政状態					吉沢康太			
第2回		簿記における電卓の使用について①					吉沢康太			
第3回		簿記における電卓の使用について②					吉沢康太			
第4回		損益計算書と貸借対照表の関係、経営状態、簿記一巡					吉沢康太			
第5回		取引、仕訳、勘定口座への記入方法、試算表					吉沢康太			
第6回		商品売買の記帳方法、3分法、売掛金と買掛金の記帳方法					吉沢康太			
第7回		返品と値引の記帳法、分記法、仕入諸掛および販売諸掛					吉沢康太			
第8回		手付金（内金）の記帳方法、商品券・他店商品券の記帳方法					吉沢康太			
第9回		簿記一巡（決算）					吉沢康太			

第10回	決算整理、繰越商品および仕入の決算整理	吉沢康太
第11回	精算表	吉沢康太
第12回	現金の記帳方法	吉沢康太
第13回	当座預金の記帳方法、当座借越の記帳方法	吉沢康太
第14回	手形の記帳方法	吉沢康太
第15回	受取手形および売掛金の決算整理	吉沢康太
第16回	現金過不足および現金の決算整理	吉沢康太
第17回	有価証券、有形固定資産	吉沢康太
第18回	債権及び債務、未収金および未払金の記帳方法	吉沢康太
第19回	有形固定資産の決算整理	吉沢康太
第20回	その他の勘定および訂正仕訳	吉沢康太
第21回	手形貸付金および手形借入金の記帳方法、立替金および預り金の記帳方法	吉沢康太
第22回	仮払金および仮受金の記帳方法、その他の収益および費用	吉沢康太
第23回	資本金と税金	吉沢康太
第24回	費用及び収益の決算整理	吉沢康太
第25回	消耗品および消耗品費の決算整理、引出金の決算整理	吉沢康太
第26回	訂正仕訳	吉沢康太
第27回	損益計算書および貸借対照表①	吉沢康太
第28回	損益計算書および貸借対照表②	吉沢康太
第29回	主要簿と補助簿	吉沢康太
第30回	現金出納帳および当座預金出納帳、小口現金出納帳	吉沢康太

第31回	仕入帳・売上帳、売掛金元帳・買掛金元帳	吉沢康太
第32回	商品有高帳	吉沢康太
第33回	手形・手形記入帳	吉沢康太
第34回	試算表の作成①	吉沢康太
第35回	試算表の作成②	吉沢康太
第36回	伝票、伝票会計	吉沢康太
第37回	項目別対策 仕訳問題①	吉沢康太
第38回	項目別対策 仕訳問題②	吉沢康太
第39回	直前模擬試験①	吉沢康太
第40回	直前模擬試験②	吉沢康太
第41回	直前模擬試験③	吉沢康太
第42回	直前模擬試験④	吉沢康太
第43回	直前模擬試験⑤	吉沢康太
第44回	直前模擬試験⑥	吉沢康太
第45回	直前模擬試験⑦	吉沢康太
準備学習等	予習は不要である。テキストはもちろんのこと、授業内で電卓を使用するため忘れずに持参すること。	
教科書 参考書等	ALFA3級商業簿記テキスト・問題集・解答集、ステップアップ問題集、過去問題集（大原出版）、簿記能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）、完全分類全経簿記3級商業簿記（英光社）	
備考	授業計画の各回の内容については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

017.公務員基礎知識Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	公務員基礎知識Ⅰ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		90時間			
			単位数		4単位			
科目教員	吉沢康太		授業回数		45回			
			成績 評価 方法	評価試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:		%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員になるにあたって必要な知識である一般知識、一般知能分野の理解度を高めるこ とを授業目的とする。模擬試験の実施を通して知識向上を目指し、それらが身に付いた 状態となることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	模擬試験①					吉沢康太		
第2回	模擬試験②					吉沢康太		
第3回	模擬試験③					吉沢康太		
第4回	模擬試験④					吉沢康太		
第5回	模擬試験⑤					吉沢康太		
第6回	模擬試験⑥					吉沢康太		
第7回	模擬試験⑦					吉沢康太		
第8回	模擬試験⑧					吉沢康太		
第9回	模擬試験⑨					吉沢康太		
第10回	模擬試験⑩					吉沢康太		

第11回	模擬試験⑪	吉沢康太
第12回	模擬試験⑫	吉沢康太
第13回	模擬試験⑬	吉沢康太
第14回	模擬試験⑭	吉沢康太
第15回	模擬試験⑮	吉沢康太
第16回	模擬試験⑯	吉沢康太
第17回	模擬試験⑰	吉沢康太
第18回	模擬試験⑱	吉沢康太
第19回	模擬試験⑲	吉沢康太
第20回	模擬試験⑳	吉沢康太
第21回	模擬試験㉑	吉沢康太
第22回	模擬試験㉒	吉沢康太
第23回	模擬試験㉓	吉沢康太
第24回	模擬試験㉔	吉沢康太
第25回	模擬試験㉕	吉沢康太
第26回	模擬試験㉖	吉沢康太
第27回	模擬試験㉗	吉沢康太
第28回	模擬試験㉘	吉沢康太
第29回	模擬試験㉙	吉沢康太
第30回	模擬試験㉚	吉沢康太
第31回	模擬試験㉛	吉沢康太

第32回	模擬試験③②	吉沢康太
第33回	模擬試験③③	吉沢康太
第34回	模擬試験③④	吉沢康太
第35回	模擬試験③⑤	吉沢康太
第36回	模擬試験③⑥	吉沢康太
第37回	模擬試験③⑦	吉沢康太
第38回	模擬試験③⑧	吉沢康太
第39回	模擬試験③⑨	吉沢康太
第40回	模擬試験④⑩	吉沢康太
第41回	模擬試験④⑪	吉沢康太
第42回	模擬試験④⑫	吉沢康太
第43回	模擬試験④⑬	吉沢康太
第44回	模擬試験④⑭	吉沢康太
第45回	模擬試験④⑮	吉沢康太
準備学習等	一般知識、一般知能の各分野について、自分で不足しているという自覚がある範囲はなるべく解決したうえで模擬試験に臨むこと。	
教科書 参考書等	各種模擬試験（大原出版、実務教育出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	解説等の時間配分については、模擬試験ごとに実施時間が異なるためその日ごとに異なる。解説を聞いてもわからない部分があれば科目教員に必ず質問すること。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎国語Ⅰ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	蜂谷 志穂 伊藤 江里子		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験の受験に必要な文章理解・国語の基礎項目の習得を図り、基礎レベルの問題を確実に得点することを目的とする。文章理解においては、問題を解く際の基本的な考え方を理解した上で、例題レベルの問題を正しい解き方で正解できることを到達目標とする。国語については、漢字・文法・敬語・ことわざ・四字熟語に関する問題が頻出である。そこで実際に問題を解き、わからない場合は自ら調べてプリントにまとめるなどをして、受験に必要な基本的知識を確実に身につけることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	主旨・要旨把握問題①、漢字（基本レベル）①						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第2回	主旨・要旨把握問題②、漢字（基本レベル）②						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第3回	主旨・要旨把握問題③、漢字（基本レベル）③						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第4回	主旨・要旨把握問題④、文法・敬語（基本レベル）①						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第5回	主旨・要旨把握問題⑤、文法・敬語（基本レベル）②						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第6回	主旨・要旨把握問題⑥、四字熟語（基本レベル）①						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第7回	内容合致問題①、四字熟語（基本レベル）②						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第8回	内容合致問題②、四字熟語（基本レベル）③						蜂谷 志穂 伊藤 江里子	

第9回	文章整序問題①、四字熟語（基本レベル）④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	文章整序問題②、四字熟語（基本レベル）⑤	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第11回	空欄補充問題①、ことわざ・故事成語（基本レベル）①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第12回	空欄補充問題②、ことわざ・故事成語（基本レベル）②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第13回	その他の問題①、ことわざ・故事成語（基本レベル）③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第14回	その他の問題②、ことわざ・故事成語（基本レベル）④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第15回	その他の問題③、ことわざ・故事成語（基本レベル）⑤	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

019.基礎数的Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎数的Ⅰ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		90時間			
			単位数		3単位			
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		45回			
			成績評価方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:		%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		各種公務員教養試験で出題される分野である「数的推理」「判断推理・課題処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。 「数的推理」分野では、問題の形式（パターン）を数多く理解し、解答をパターン化させて精度を上げる分野や、解法が複数存在する分野、自由な発想を必要とする分野がある。したがって、自ら思考し、判断して正答を導き出す力の養成を図る。 「判断推理・課題処理」分野では、様々な条件を書き上げたり、合成したり、性質ごとに分けたりといった作業を効率的に行う能力と論理的思考力の向上を図る。また、問題の内容をしっかりと把握するといった読解力の養成も重要である。 問題演習（基礎編）では、各分野の既習事項の定着を図るために、一般教養力検定の模擬試験等を実施する。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	数と文字式の計算（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第2回	方程式・不等式(1)（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第3回	方程式・不等式(2)（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第4回	方程式・不等式(3)（数的推理編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		

第5回	整数・計算パズル(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第6回	整数・計算パズル(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第7回	整数・計算パズル(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	割合と比(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	割合と比(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	割合と比(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	割合と比(4) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	速さ(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	速さ(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	速さ(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	速さ(4) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	その他の文章題(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	その他の文章題(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	場合の数(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	場合の数(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	場合の数(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	場合の数(4) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	確率(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	確率(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	論理 (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第25回	集合の要素(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	集合の要素(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	順序(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	順序(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	順序(3) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	位置・方位(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第31回	位置・方位(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第32回	対応(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第33回	対応(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第34回	対応(3) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第35回	勝敗 (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第36回	うそつき (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第37回	暗号 (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第38回	推理・手順(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第39回	推理・手順(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第40回	問題演習 (基礎編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第41回	問題演習 (基礎編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第42回	問題演習 (基礎編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第43回	問題演習 (基礎編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第44回	問題演習 (基礎編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第45回	問題演習（基礎編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。	

020.基礎数的 A		学科	行政公務員学科（1 年課程）・法律公務員学科（1 年課程）・ 総合公務員学科（1 年課程）		
		学年	1 学年		
科目名	基礎数的 A		授業形態		講義
			選必の別		選必
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数	60時間
				単位数	2単位
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		30回
			成績 評価 方法	筆記試験	: 70 %
				平常点	: 30 %
					: %
					: %
科目教員のうち 実務経験教員			: %		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容					
実務経験教員の 実務経験内容					
授業目的 到達目標		各種公務員教養試験で出題される分野である「数的推理」「判断推理・課題処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。 「数的推理」分野では、問題の形式（パターン）を数多く理解し、解答をパターン化させて精度を上げる分野や、解法が複数存在する分野、自由な発想を必要とする分野がある。したがって、自ら思考し、判断して正答を導き出す力の養成を図る。 「判断推理・課題処理」分野では、様々な条件を書き上げたり、合成したり、性質ごとに分けたりといった作業を効率的に行う能力と論理的思考力の向上を図る。また、問題の内容をしっかりと把握するといった読解力の養成も重要である。 問題演習（基礎編）では、各分野の既習事項の定着を図るために、一般教養力検定の模擬試験等を実施する。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。			
授業計画					
回数	授業内容				科目教員
第1回	数と文字式の計算（数的推理編）				比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第2回	方程式・不等式(1)（数的推理編）				比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第3回	方程式・不等式(2)（数的推理編）				比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第4回	整数・計算パズル(1)（数的推理編）				比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第5回	整数・計算パズル(2)（数的推理編）				比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第6回	整数・計算パズル(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第7回	割合と比(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	割合と比(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	割合と比(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	割合と比(4) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	割合と比(5) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	速さ(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	速さ(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	速さ(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	速さ(4) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	その他の文章題(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	その他の文章題(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	その他の文章題(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	場合の数・確率(1) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	場合の数・確率(2) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	場合の数・確率(3) (数的推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	論理 (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	集合の要素(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	集合の要素(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	順序(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第26回	順序(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	順序(3) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	位置・方位(1) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	位置・方位(2) (判断推理編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	問題演習 (基礎編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	社会科学Ⅰ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		90時間			
			単位数		3単位			
科目教員	今野洸、吉沢康太		授業回数		45回			
			成績評価方法	レポート		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員					:	%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標			社会系専門科目で学習するのは、政治である。本講義では政治の基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である国会・内閣、裁判所を中心に学習を進める。 最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。					
授業計画								
回数	授業内容				科目教員			
第1回	政治の基本概念①(政治と権力)				今野洸、吉沢康太			
第2回	政治の基本概念②(近代国家)				今野洸、吉沢康太			
第3回	政治制度論①(権力分立論・イギリス)				今野洸、吉沢康太			
第4回	政治制度論②(日本・アメリカ)				今野洸、吉沢康太			
第5回	政治過程論(政党と政党制・選挙制度)				今野洸、吉沢康太			
第6回	日本国憲法の特徴①(大日本帝国憲法)				今野洸、吉沢康太			
第7回	日本国憲法の特徴②(日本国憲法と三大原則)				今野洸、吉沢康太			
第8回	基本的人権総論①(人権保障の歴史・人権の分類)				今野洸、吉沢康太			

第9回	基本的人権総論②(人権の享有・人権の限界)	今野洸、吉沢康太
第10回	基本的人権総論③(公共の福祉・国民の義務)	今野洸、吉沢康太
第11回	包括的基本権(幸福追求権・新しい人権)	今野洸、吉沢康太
第12回	精神的自由権①(自由権の意義・思想良心の自由)	今野洸、吉沢康太
第13回	精神的自由権②(信教の自由・表現の自由・学問の自由)	今野洸、吉沢康太
第14回	経済的自由権①(経済的自由権の意義・職業選択と居住移転の自由)	今野洸、吉沢康太
第15回	経済的自由権②(財産権の保障)	今野洸、吉沢康太
第16回	人身の自由①(人身の自由の意義・適性手続の保障)	今野洸、吉沢康太
第17回	人身の自由②(被疑者及び被告人の権利)	今野洸、吉沢康太
第18回	社会権①(社会権の成立・生存権)	今野洸、吉沢康太
第19回	社会権②(教育を受ける権利・勤労の権利・労働基本権)	今野洸、吉沢康太
第20回	能動的権利と受益権(能動的権利・受益権)	今野洸、吉沢康太
第21回	憲法改正の手続(硬性憲法・憲法改正の手続)	今野洸、吉沢康太
第22回	国会の機構と運営①(国会の地位と機構)	今野洸、吉沢康太
第23回	国会の機構と運営②(国会と議院の権能・議員の特権)	今野洸、吉沢康太
第24回	国会の機構と運営③(衆議院の優越・国会の種類)	今野洸、吉沢康太
第25回	内閣の機構と運営①(議院内閣制と内閣の構成)	今野洸、吉沢康太
第26回	内閣の機構と運営②(内閣総理大臣と内閣の権能)	今野洸、吉沢康太
第27回	裁判所の機構と運営①(司法権の独立)	今野洸、吉沢康太
第28回	裁判所の機構と運営②(裁判のしくみと違憲立法審査権)	今野洸、吉沢康太
第29回	財政(財政民主主義・租税法律主義・予算)	今野洸、吉沢康太

第30回	地方自治①(地方自治の意義・地方公共団体の機関と権能)	今野洸、吉沢康太
第31回	地方自治②(住民の権利・地方自治の諸問題)	今野洸、吉沢康太
第32回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第33回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第34回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第35回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第36回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第37回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第38回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第39回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第40回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第41回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第42回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第43回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第44回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第45回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
準備学習等	・講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 ・各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。	
教科書 参考書等	テキスト政治（大原出版）、模擬試験(大原出版)、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテストを実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

022.社会科学 A		学科	行政公務員学科（1 年課程）・法律公務員学科（1 年課程）・ 総合公務員学科（1 年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	社会科学 A		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	今野洸、吉沢康太		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		社会系専門科目で学習するのは、政治である。本講義では政治の基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である国会・内閣、裁判所を中心に学習を進める。 最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	政治の基本概念					今野洸、吉沢康太		
第2回	政治制度論					今野洸、吉沢康太		
第3回	政治過程論					今野洸、吉沢康太		
第4回	大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴					今野洸、吉沢康太		
第5回	基本的人権総論					今野洸、吉沢康太		
第6回	精神的自由権・経済的自由権					今野洸、吉沢康太		
第7回	人身の自由・社会権					今野洸、吉沢康太		
第8回	能動的権利・受益権					今野洸、吉沢康太		
第9回	国会の機構と運営					今野洸、吉沢康太		

第10回	内閣の機構と運営	今野洸、吉沢康太
第11回	裁判所の機構と運営	今野洸、吉沢康太
第12回	地方自治	今野洸、吉沢康太
第13回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第14回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第15回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト政治（大原出版）、模擬試験(大原出版)、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

023.総合演習 A		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	総合演習A		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間		
				単位数		3単位		
科目教員	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		授業回数		45回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		基礎授業期で学習した内容の定着を図るために総合問題演習を行う。公務員試験における教養試験の合格基準を超える学力を養うことを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第2回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第3回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第4回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第5回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第6回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第7回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第8回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第9回	総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		

第10回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第11回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第12回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第13回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第14回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第15回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第16回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第17回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第18回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第19回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第20回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第21回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第22回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第23回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第24回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第25回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第26回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第27回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第28回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第29回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂

第30回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第31回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第32回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第33回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第34回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第35回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第36回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第37回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第38回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第39回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第40回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第41回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第42回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第43回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第44回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第45回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の問題演習の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、テキスト政治、テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

024.文書処理技能Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	文書処理技能Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	大庄司 文子		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	実技試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員	大庄司 文子				:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容		パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁における処理システム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。						
実務経験教員の 実務経験内容		企業にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。						
授業目的 到達目標		社会人として必要なパソコンでの文書作成能力を養成することを目的とする。文書作成能力の養成においては知識や技能を習得するだけではなく将来関わるであろう業務の遂行を意識しながら、正確さや迅速さを追求した事務処理能力の向上を目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	文書作成ソフト（文字書式・拡張書式・段落書式）					大庄司 文子		
第2回	文書作成ソフト（タブとリーダー・段組み・箇条書き）					大庄司 文子		
第3回	文書作成ソフト（段落番号・ドロップキャップ・スタイル）					大庄司 文子		
第4回	文書作成ソフト（ページ設定と印刷設定）					大庄司 文子		
第5回	文書作成ソフト（テキスト編集・ヘッダーとフッター）					大庄司 文子		
第6回	文書作成ソフト（表のデザインとレイアウト）					大庄司 文子		
第7回	文書作成ソフト（オブジェクトの作成・図と図形の書式）					大庄司 文子		
第8回	文書作成ソフト（配置と整列）					大庄司 文子		

第9回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第10回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第11回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第12回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第13回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第14回	文書作成練習問題	大庄司 文子
第15回	文書作成練習問題	大庄司 文子
準備学習等	基本的に予習は不要。各自の文書処理技能の習熟度に応じた自主的な演習の時間の確保が必要である。	
教科書 参考書等	サーティファイWord文書処理技能認定試験問題集（サーティファイ） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	コミュニケーション能力Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		60時間			
			単位数		2単位			
科目教員	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		授業回数		30回			
			成績評価方法	レポート		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		社会人として必要なコミュニケーション能力の育成を目的とする。様々な視点から自己分析を行い、自己理解を深めることで豊かな自己表現力を養成する。 また、社会問題（時事）研究と職種研究を並行して行い、自己分析とオーバーラップさせながら様々な面接試験に幅広く対応できることを目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	自己分析の要領 自己分析シート作成①						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第2回	自己分析シート作成②						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第3回	自己分析シート作成③						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第4回	自己分析シート作成④						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第5回	自己分析シート作成⑤						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第6回	自己分析シート作成⑥						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第7回	面接想定シート作成①						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第8回	面接想定シート作成②						今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	

第9回	面接想定シート作成③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第10回	面接想定シート作成④	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第11回	職種研究①	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第12回	職種研究②	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第13回	職種研究③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第14回	職種研究④	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第15回	職種研究⑤	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第16回	社会問題(時事)研究①	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第17回	社会問題(時事)研究②	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第18回	社会問題(時事)研究③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第19回	体力試験対策①	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第20回	体力試験対策②	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第21回	体力試験対策③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第22回	校外研修事前準備	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第23回	校外研修	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第24回	校外研修	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第25回	模擬面接(個人面接①)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第26回	模擬面接(個人面接②)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第27回	模擬面接(集団討論①)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第28回	模擬面接(集団討論②)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂

第29回	印象アップセミナー	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第30回	スーツセミナー、メイクセミナー	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
準備学習等	基本的に予習は不要。各授業内で課題を課すことがある。	
教科書 参考書等	就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（1年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（1年課程）
学年	1 学年

科目名		コミュニケーション能力A		授業形態		演習			
				選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		90時間		
					単位数		3単位		
科目教員		今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		授業回数		45回			
				成績評価方法	レポート		:	70	%
					平常点		:	30	%
							:		%
							:		%
科目教員のうち 実務経験教員							:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							:	%	
実務経験教員の 実務経験内容							:	%	
授業目的 到達目標		社会人として必要なコミュニケーション能力の育成を目的とする。様々な視点から自己分析を行い、自己理解を深めることで豊かな自己表現力を養成する。 また、社会問題（時事）研究と職種研究を並行して行い、自己分析とオーバーラップさせながら様々な面接試験に幅広く対応できることを目標とする。							
授業計画									
回数		授業内容					科目教員		
第1回		自己分析の要領 自己分析シート作成①					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第2回		自己分析シート作成②					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第3回		自己分析シート作成③					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第4回		自己分析シート作成④					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第5回		自己分析シート作成⑤					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第6回		自己分析シート作成⑥					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第7回		面接想定シート作成①					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第8回		面接想定シート作成②					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第9回		面接想定シート作成③					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		

第10回	面接想定シート作成④	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第11回	面接想定シート作成⑤	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第12回	面接想定シート作成⑥	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第13回	面接想定シート作成⑦	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第14回	面接想定シート作成⑧	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第15回	面接想定シート作成⑨	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第16回	職種研究①	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第17回	職種研究②	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第18回	職種研究③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第19回	職種研究④	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第20回	職種研究⑤	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第21回	職種研究⑥	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第22回	職種研究⑦	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第23回	職種研究⑧	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第24回	社会問題(時事)研究①	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第25回	社会問題(時事)研究②	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第26回	社会問題(時事)研究③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第27回	社会問題(時事)研究④	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第28回	社会問題(時事)研究⑤	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第29回	社会問題(時事)研究⑥	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂

第30回	社会問題(時事)研究⑦	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第31回	社会問題(時事)研究⑧	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第32回	模擬面接(個人面接①)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第33回	模擬面接(個人面接②)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第34回	模擬面接(個人面接③)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第35回	模擬面接(個人面接④)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第36回	模擬面接(個人面接⑤)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第37回	模擬面接(個人面接⑥)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第38回	模擬面接(集団討論)	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第39回	体力試験対策①	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第40回	体力試験対策②	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第41回	体力試験対策③	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第42回	校外研修事前準備	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第43回	校外研修	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第44回	校外研修	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第45回	校外研修	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
準備学習等		基本的に予習は不要。各授業内で課題を課すことがある。
教科書 参考書等		就職ガイドブック、就職ノートブック（学校法人 大原学園） Monoxer（モノグサ株式会社）
備考		授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名		適性検査演習Ⅲ		授業形態		演習			
				選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		30時間		
					単位数		2単位		
科目教員		今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		授業回数		30回			
				成績評価方法	実技試験		:	50	%
					平常点		:	50	%
							:		%
							:		%
科目教員のうち 実務経験教員							:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容									
実務経験教員の 実務経験内容									
授業目的 到達目標		適性検査演習Ⅰで身に付けた適性検査の基礎的な知識・技能を生かし、さらなる応用力の養成を図る。また、社会問題研究により課題の解決法など自ら考察する力の養成を目的とする。適性検査については、適性検査の複数の試験形式や特徴に関するさらなる理解とその発展問題における習熟度の向上を目的とする。また、社会問題研究により時事に関する様々な知識を蓄積させ、その問題の本質について考察し、自らの言葉で表現する力の涵養を目標とする。							
授業計画									
回数		授業内容					科目教員		
第1回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第2回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第3回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第4回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第5回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第6回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第7回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第8回		適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		

第9回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第10回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第11回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第12回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第13回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第14回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第15回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第16回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第17回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第18回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第19回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第20回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第21回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第22回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第23回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第24回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第25回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第26回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第27回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第28回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂

第29回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第30回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為に、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。	
教科書 参考書等	T E X T 適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）、 Monoxer（モノグサ株式会社） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット） ニュース検定公式テキスト＆問題集（毎日新聞出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	基礎国語Ⅱ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	蜂谷 志穂 伊藤 江里子		授業回数		15回			
			成績評価方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員								
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験の受験に必要な文章理解、国語の基本的問題を確実に得点できる能力の習得を目的とする。文章理解においては、基礎国語Ⅰで習得した、「問題を解く際の正しい考え方」を前提に、様々なパターンの問題を解き、パターン別の解き方のコツを掴み、受験時における基礎レベルの問題を確実に得点できるようにすることを到達目標とする。また、国語の分野で出題される漢字・文法・敬語・ことわざ・四字熟語などについては、実際に問題を解き、わからない場合は自ら調べてプリントにまとめるなどをして、基礎国語Ⅰで学んだ以上の知識を身につけることを到達目標とする。さらにこの科目では、公務員試験で実施される作文試験の対策も行う。授業では、採点のポイント、原稿用紙の使い方、表現における注意点、作文構成の方法などの基本事項を理解させ、作文作成の下地作りを目的とする。それを踏まえて作文試験における各採点基準の最低基準をクリアした作文を作成できるようになることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	主旨・要旨把握問題(練習問題)①、漢字(標準レベル)①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第2回	主旨・要旨把握問題(練習問題)②、漢字(標準レベル)②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第3回	主旨・要旨把握問題(練習問題)③、漢字(標準レベル)③					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第4回	主旨・要旨把握問題(練習問題)④、文法・敬語(標準レベル)①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第5回	主旨・要旨把握問題(練習問題)⑤、文法・敬語(標準レベル)②					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		
第6回	内容合致問題(練習問題)①、四字熟語(標準レベル)①					蜂谷 志穂 伊藤 江里子		

第7回	内容合致問題(練習問題) ②、四字熟語 (標準レベル) ②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第8回	文章整序問題(練習問題) ①、四字熟語 (標準レベル) ③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	文章整序問題(練習問題) ②、四字熟語 (標準レベル) ④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	空欄補充問題(練習問題) ①、ことわざ・故事成語 (標準レベル) ①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第11回	空欄補充問題(練習問題) ②、ことわざ・故事成語 (標準レベル) ②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第12回	その他の問題(練習問題) ①、ことわざ・故事成語 (標準レベル) ③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第13回	その他の問題(練習問題) ②、ことわざ・故事成語 (標準レベル) ④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第14回	作文入門	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第15回	作文作成	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer (モノグサ株式会社)	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する可能性がある。受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する可能性がある。	

029.基礎数的Ⅱ		学科	行政公務員学科（1年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（1年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎数的Ⅱ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間		
				単位数		3単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		45回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		各種公務員教養試験で出題される分野である「平面図形・空間把握」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成する。その後、公務員試験に必要な数处理的各分野（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握）について、基礎数的Ⅰ及び本科目で学習した基礎知識の定着と学力のさらなる向上を目指し、より難易度の高い問題から正答を導き出す力を養成する。 本科目で学習する分野においては、公式の理解に留まらず、正多面体の性質や平面図形の回転の軌跡、立体の切断面など、空間把握・表象能力の養成を図る。 問題演習（応用編）では、基礎数的Ⅰ及び本科目で学んだ全ての範囲（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握）について、応用力を養うために一般教養力検定の模擬試験等を実施する。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	平面図形の計量(1)（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第2回	平面図形の計量(2)（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第3回	平面図形の計量(3)（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第4回	平面図形の計量(4)（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第5回	平面図形の計量(5)（図形編）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		

第6回	平面図形の計量(6) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第7回	平面図形の計量(7) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	平面図形の計量(8) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	立体図形の計量(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	立体図形の計量(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	立体図形の計量(3) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	回転と軌跡(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	回転と軌跡(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	道順・一筆書き・位相 (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	平面構成(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	平面構成(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	平面構成(3) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	正多面体・展開図(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	正多面体・展開図(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	立体構成(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	立体構成(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	立体構成(3) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	立体構成(4) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	問題演習 (応用編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	問題演習 (応用編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第26回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第31回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第32回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第33回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第34回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第35回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第36回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第37回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第38回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第39回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第40回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第41回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第42回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第43回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第44回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第45回	問題演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。
教科書 参考書等	図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。

030.基礎数的B		学科	行政公務員学科（1年課程）・法律公務員学科（1年課程）・ 総合公務員学科（1年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎数的B		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間		
				単位数		2単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		各種公務員教養試験で出題される分野である「判断推理・課題処理」「平面図形・空間把握」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成する。その後、公務員試験に必要な数的処理の各分野（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握）について、基礎数的Ⅰ及び本科目で学習した基礎知識の定着と学力のさらなる向上を目指し、より難易度の高い問題から正答を導き出す力を養成する。 「判断推理・課題処理」分野では、様々な条件を書き上げたり、合成したり、性質ごとに分けたりといった作業を効率的に行う能力と論理的思考力の向上を図る。また、問題の内容をしっかりと把握するといった読解力の養成も重要である。 「平面図形・空間把握」分野においては、公式の理解に留まらず、正多面体の性質や平面図形の回転の軌跡、立体の切断面など、空間把握・表象能力の養成を図る。 問題演習（応用編）では、基礎数的Ⅰ及び本科目で学んだ全ての範囲（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握）について、応用力を養うために一般教養力検定の模擬試験等を実施する。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	対応(1)（判断推理編）						比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航	
第2回	対応(2)（判断推理編）						比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航	
第3回	対応(3)（判断推理編）						比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航	

第4回	勝敗（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第5回	うそつき（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第6回	暗号（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第7回	推理・手順(1)（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	推理・手順(2)（判断推理編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	平面図形の計量(1)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	平面図形の計量(2)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	平面図形の計量(3)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	平面図形の計量(4)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	平面図形の計量(5)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	平面図形の計量(6)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	平面図形の計量(7)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	平面図形の計量(8)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	立体図形の計量(1)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	立体図形の計量(2)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	立体図形の計量(3)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	回転と軌跡(1)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	回転と軌跡(2)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	道順・一筆書き・位相（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	平面構成(1)（図形編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第24回	平面構成(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	平面構成(3) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	正多面体・展開図(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	正多面体・展開図(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	立体構成(1) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	立体構成(2) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	立体構成(3) (図形編)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、模擬試験（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名	社会科学Ⅱ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		90時間			
			単位数		3単位			
科目教員	今野洸、吉沢康太		授業回数		45回			
			成績評価方法	レポート		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会である。本講義では経済・社会では基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度や医療保険制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。 最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	経済社会の変容（経済社会のしくみ）						今野洸、吉沢康太	
第2回	経済体制(経済体制・経済理論)						今野洸、吉沢康太	
第3回	現代の企業①(企業の形態)						今野洸、吉沢康太	
第4回	現代の企業②(企業の巨大化・中小企業の現状)						今野洸、吉沢康太	
第5回	現代の市場①(市場メカニズム)						今野洸、吉沢康太	
第6回	現代の市場②(寡占市場・市場の失敗)						今野洸、吉沢康太	
第7回	国民所得(国民所得と国富・国民経済計算)						今野洸、吉沢康太	
第8回	経済成長と景気循環①(経済成長・景気循環)						今野洸、吉沢康太	

第9回	経済成長と景気循環②(インフレーションとデフレーション)	今野洸、吉沢康太
第10回	通貨制度と金融政策①(通貨制度・金融制度)	今野洸、吉沢康太
第11回	通貨制度と金融政策②(信用創造・日本銀行の役割と金融政策)	今野洸、吉沢康太
第12回	財政制度と財政政策(財政の役割・財政制度・財政政策)	今野洸、吉沢康太
第13回	貿易と外国為替①(国際分業と貿易)	今野洸、吉沢康太
第14回	貿易と外国為替②(国際収支・外国為替と為替相場)	今野洸、吉沢康太
第15回	日本経済の動向①(戦後の経済民主化と復興・高度経済成長・石油危機)	今野洸、吉沢康太
第16回	日本経済の動向②(産業構造の転換・現代の諸問題)	今野洸、吉沢康太
第17回	国際経済の動向①(国際通貨と金融体制・貿易の自由化)	今野洸、吉沢康太
第18回	国際経済の動向②(地域的経済統合と経済協力・国際経済の課題)	今野洸、吉沢康太
第19回	社会集団（組織集団と非組織集団）	今野洸、吉沢康太
第20回	大衆社会と日本文化論	今野洸、吉沢康太
第21回	防衛機制と青年期のパーソナリティ	今野洸、吉沢康太
第22回	労働三法と近代の労働法規	今野洸、吉沢康太
第23回	雇用と失業・女性の労働事情	今野洸、吉沢康太
第24回	若年者の雇用と失業問題	今野洸、吉沢康太
第25回	社会保障制度の形成（イギリス・ドイツ・アメリカ）	今野洸、吉沢康太
第26回	日本の社会保障制度	今野洸、吉沢康太
第27回	社会保障の状況（少子・高齢化問題）	今野洸、吉沢康太
第28回	医療保険制度・年金制度の改革	今野洸、吉沢康太
第29回	日本の環境問題（公害対策・環境対策）	今野洸、吉沢康太
第30回	地球環境問題（環境汚染・環境破壊）	今野洸、吉沢康太
第31回	環境破壊防止の国際的枠組み	今野洸、吉沢康太
第32回	国際社会と国際法	今野洸、吉沢康太

第33回	国際組織（国際連盟・国際連合）	今野洸、吉沢康太
第34回	政治の基本概念、政治制度論	今野洸、吉沢康太
第35回	日本国憲法の特徴	今野洸、吉沢康太
第36回	基本的人権①（包括的基本権、平等権）	今野洸、吉沢康太
第37回	基本的人権②（自由権）	今野洸、吉沢康太
第38回	基本的人権③（社会権、受益権）	今野洸、吉沢康太
第39回	国会の機構と運営	今野洸、吉沢康太
第40回	内閣の機構と運営	今野洸、吉沢康太
第41回	裁判所の機構と運営	今野洸、吉沢康太
第42回	地方自治	今野洸、吉沢康太
第43回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第44回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
第45回	問題演習（基礎編）	今野洸、吉沢康太
準備学習等	・講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 ・各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。	
教科書 参考書等	テキスト 政治（大原出版） 経済（大原出版） 社会（大原出版） 模擬試験（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテストを実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	1学年

科目名	社会科学B		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	今野洸、吉沢康太		授業回数		15回			
			成績評価方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会である。本講義では経済・社会では基本的な用語を新たな知識として習得し、図表で理解を深め、公務員試験の頻出傾向である金融政策・財政政策、社会保障制度を中心に学習を進める。政治では、公務員試験の頻出傾向の高い分野を中心に復習し、更なる理解の向上になるように学習を進める。最終的には、頻出用語の理解及び知識の習得に留まらず、公務員試験の合格には欠かせない基礎学力の定着を確認する一般教養力検定の合格を到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	経済社会の変容と体制						今野洸、吉沢康太	
第2回	現代の企業と市場						今野洸、吉沢康太	
第3回	国民所得と国民所得計算						今野洸、吉沢康太	
第4回	経済の成長と景気循環						今野洸、吉沢康太	
第5回	通貨制度と金融政策						今野洸、吉沢康太	
第6回	財政制度と財政政策						今野洸、吉沢康太	
第7回	日本経済の動向						今野洸、吉沢康太	
第8回	世界経済の動向						今野洸、吉沢康太	

第9回	大衆社会と日本文化論	今野洸、吉沢康太
第10回	防衛機制と青年期	今野洸、吉沢康太
第11回	労働三法と労働法規	今野洸、吉沢康太
第12回	日本の社会保障制度	今野洸、吉沢康太
第13回	基本的人権（自由権・社会権・受益権等）	今野洸、吉沢康太
第14回	国会・内閣・裁判所の機構と運営	今野洸、吉沢康太
第15回	地方自治	今野洸、吉沢康太
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト 政治（大原出版） 経済（大原出版） 社会（大原出版） 模擬試験（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・ 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・ 状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・ 受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名		総合演習 B		授業形態		演習		
				選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		90時間	
					単位数		3単位	
科目教員		今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂			授業回数		45回	
					成績 評価 方法	筆記試験		: 70 %
						平常点		: 30 %
								: %
科目教員のうち 実務経験教員								: %
								: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		基礎授業期で学習した内容の定着を図るために総合問題演習を行う。公務員試験における教養試験の合格基準を超える学力を養うことを到達目標とする。						
授業計画								
回数		授業内容					科目教員	
第1回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第2回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第3回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第4回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第5回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第6回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第7回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第8回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第9回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	
第10回		総合問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂	

第11回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第12回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第13回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第14回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第15回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第16回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第17回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第18回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第19回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第20回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第21回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第22回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第23回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第24回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第25回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第26回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第27回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第28回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第29回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第30回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂

第31回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第32回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第33回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第34回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第35回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第36回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第37回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第38回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第39回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第40回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第41回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第42回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第43回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第44回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第45回	総合問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の問題演習の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、テキスト政治、テキスト文章理解・解答解説集、テキスト国語、模擬試験(大原出版)、国語辞典もしくは電子辞書Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名		応用国語演習Ⅰ		授業形態		演習					
				選必の別		選必					
実務経験のある教員による科目の有無						授業時間数		30時間			
						単位数		1単位			
科目教員		蜂谷 志穂 伊藤 江里子			授業回数		15回				
					成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%	
						平常点		:	30	%	
								:		%	
								:		%	
科目教員のうち 実務経験教員								:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容											
実務経験教員の 実務経験内容											
授業目的 到達目標		基礎国語Ⅰおよび基礎国語Ⅱにて身につけた基礎力をベースに、公務員試験において合格者の大半が得点するであろう標準レベルの問題に取り組んでもらい、確実に得点できるような能力の習得を目的とする。文章理解においては、標準レベルの問題となるとさらに多くのテクニックが必要となってくる。したがって、様々な問題に取り組む中でそれを学び、使いこなせるようにし、標準レベルの問題を確実に解けるようにすることを到達目標とする。国語においては、漢字・文法・敬語・四字熟語・ことわざ・故事成語の問題に対応するための知識の定着を目的とする。テキストで重要項目を理解した上で問題を解き、応用的知識を確実に習得できるようにすることを到達目標とする。さらに、基礎国語Ⅱに引き続き作文対策も行う。様々なテーマに対応できるようにするため、テーマごとに何をどういう順番で書くかを考える能力を習得させることを目的とする。各採点基準をすべてクリアできるような答案を書けるようになることを到達目標とする。									
授業計画											
回数		授業内容								科目教員	
第1回		主旨・要旨把握問題(標準レベル)①、漢字(応用レベル)①								蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第2回		主旨・要旨把握問題(標準レベル)②、漢字(応用レベル)②								蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第3回		主旨・要旨把握問題(標準レベル)③、漢字(応用レベル)③								蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第4回		主旨・要旨把握問題(標準レベル)④、文法・敬語(応用レベル)①								蜂谷 志穂 伊藤 江里子	
第5回		主旨・要旨把握問題(標準レベル)⑤、文法・敬語(応用レベル)②								蜂谷 志穂 伊藤 江里子	

第6回	内容合致問題(標準レベル) ①、四字熟語 (応用レベル) ①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第7回	内容合致問題(標準レベル) ②、四字熟語 (応用レベル) ②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第8回	文章整序問題(標準レベル) ①、四字熟語 (応用レベル) ③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第9回	文章整序問題(標準レベル) ②、四字熟語 (応用レベル) ④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第10回	空欄補充問題(標準レベル) ①、ことわざ・故事成語 (応用レベル) ①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第11回	空欄補充問題(標準レベル) ②、ことわざ・故事成語 (応用レベル) ②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第12回	その他の問題(標準レベル) ①、ことわざ・故事成語 (応用レベル) ③	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第13回	その他の問題(標準レベル) ②、ことわざ・故事成語 (応用レベル) ④	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第14回	作文作成①	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
第15回	作文作成②	蜂谷 志穂 伊藤 江里子
準備学習等	文章理解・国語の学習は日々の積み重ねが大切である。間違った問題を中心に授業の復習をしっかりと行い、理解できない問題については教員に質問して解決してほしい。	
教科書 参考書等	スタンダード問題集文章理解・解答解説集、テキスト国語、テキスト論作文対策、模擬試験（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。 習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

035.応用数的演習Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	応用数的演習Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		120時間		
				単位数		4単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		60回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		各種公務員教養試験で出題される分野である「数的推理」「判断推理・課題処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。 各種公務員教養試験で出題される分野である「資料解釈」について、資料のデータから各選択肢の正当性を導き出すために必要となる読解力・解析力を養成することを目的とする。その後、公務員試験に出題される数的処理の各分野（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握、資料解釈）について、実際の公務員試験の過去問レベルの問題から解答を導き出す応用力を養う。 過去問演習（応用編）では、「数的推理」「判断推理・課題処理」「平面図形・空間把握」「資料解釈」（以下、全範囲という。）の各分野から実際に公務員試験に出題された基礎的な問題の解答を導き出す力を養成する。 過去問演習（発展編）では、公務員試験に出題された標準的な難易度の問題を扱い、より柔軟な応用力を養成する。 過去問演習（完成編）では、本試験の出題傾向を分析し、基礎的な事項の習得が確認できる問題や本試験と同レベルの問題を厳選して収録したスタンダード問題集を用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。 他分野と比較してこれまで問題演習が少なかった「資料解釈」分野については、上記過去問演習を通して、多種多様な統計資料についての分析力の完成を目指す。 最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	資料解釈(1)						比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航	

第2回	資料解釈(2)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第3回	資料解釈(3)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第4回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第5回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第6回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第7回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第22回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第31回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第32回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第33回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第34回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第35回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第36回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第37回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第38回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第39回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第40回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第41回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第42回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第43回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第44回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第45回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第46回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第47回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第48回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第49回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第50回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第51回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第52回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第53回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第54回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第55回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第56回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第57回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第58回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第59回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第60回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	

教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、補助プリント、 スタンダード問題集・解答解説（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。

036.応用数的演習 A		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	応用数的演習 A		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間		
				単位数		3単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		45回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		各種公務員教養試験で出題される分野である「数的推理」「判断推理・課題処理」について、基礎的なレベルの問題から正答を導き出す力を養成することを目的とする。						
		各種公務員教養試験で出題される分野である「資料解釈」について、資料のデータから各選択肢の正当性を導き出すために必要となる読解力・解析力を養成することを目的とする。その後、公務員試験に出題される数的処理の各分野（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握、資料解釈）について、実際の公務員試験の過去問レベルの問題から解答を導き出す応用力を養う。						
		過去問演習（応用編）では、「数的推理」「判断推理・課題処理」「平面図形・空間把握」「資料解釈」（以下、全範囲という。）の各分野から実際に公務員試験に出題された基礎的な問題の解答を導き出す力を養成する。						
		過去問演習（発展編）では、公務員試験に出題された標準的な難易度の問題を扱い、より柔軟な応用力を養成する。						
		過去問演習（完成編）では、本試験の出題傾向を分析し、基礎的な事項の習得が確認できる問題や本試験と同レベルの問題を厳選して収録したスタンダード問題集を用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。						
		他分野と比較してこれまで問題演習が少なかった「資料解釈」分野については、上記過去問演習を通して、多種多様な統計資料についての分析力の完成を目指す。						
		最終目標は、国家一般職高卒者、地方初級、警察官・消防官試験で実施される教養試験での合格レベルに到達することである。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	資料解釈(1)						比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航	

第2回	資料解釈(2)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第3回	資料解釈(3)	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第4回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第5回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第6回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第7回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	数の処理過去問演習（応用編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第22回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第27回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第31回	数の処理過去問演習（発展編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第32回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第33回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第34回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第35回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第36回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第37回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第38回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第39回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第40回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第41回	数の処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第42回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第43回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第44回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第45回	数的処理過去問演習（完成編）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	既習事項の定着には、反復学習および地道な積み重ねを継続させることが必要不可欠である。したがって、学生には各回の授業の復習を課す。	
教科書 参考書等	数的推理／判断推理／図形・資料解釈〔問題編〕〔解答編〕、補助プリント、スタンダード問題集・解答解説（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度の確認の為、ウィークリーチェックを実施する。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・映像配信授業等を行う場合がある。	

037.社会科学演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）				
		学年	1 学年				
科目名	社会科学演習		授業形態		演習		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間	
				単位数		2単位	
科目教員	今野洸、吉沢康太		授業回数		30回		
			成績 評価 方法	レポート		:	70 %
				平常点		:	30 %
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員						:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会・歴史である。各分野において問題演習を行い、実際の公務員試験で正答を導き出せるようにし、公務員試験合格を目的として学習を進める。最終的には公務員試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することである。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	過去問演習（政治の基本概念）					今野洸、吉沢康太	
第2回	過去問演習（幸福追求権）					今野洸、吉沢康太	
第3回	過去問演習（自由権・社会権）					今野洸、吉沢康太	
第4回	過去問演習（能動的権利・受益権）					今野洸、吉沢康太	
第5回	過去問演習（国会・内閣・裁判所）					今野洸、吉沢康太	
第6回	過去問演習（地方自治）					今野洸、吉沢康太	
第7回	過去問演習（経済社会のしくみ）					今野洸、吉沢康太	
第8回	過去問演習（企業の形態・市場メカニズム）					今野洸、吉沢康太	
第9回	過去問演習（国民所得と国富）					今野洸、吉沢康太	
第10回	過去問演習（インフレーションとデフレーション）					今野洸、吉沢康太	
第11回	過去問演習（金融制度・財政制度）					今野洸、吉沢康太	

第12回	過去問演習（日本経済・国際経済の動向）	今野洸、吉沢康太
第13回	過去問演習（労働法規と労働問題）	今野洸、吉沢康太
第14回	過去問演習（日本の社会保障制度）	今野洸、吉沢康太
第15回	過去問演習（国際連盟・国際連合）	今野洸、吉沢康太
第16回	【日本史】ガイダンス、古代 原始 先土器・縄文・弥生時代	今野洸、吉沢康太
第17回	【日本史】古代 大和政権・聖徳太子・大化の改新	今野洸、吉沢康太
第18回	【日本史】古代 律令制度・班田収授法・租庸調・初期荘園	今野洸、吉沢康太
第19回	【日本史】古代 奈良時代・土地制度	今野洸、吉沢康太
第20回	【日本史】古代 律令政治の再建・摂関政治・荘園の発達	今野洸、吉沢康太
第21回	【日本史】古代 武士団の形成・院政・平氏政権	今野洸、吉沢康太
第22回	【日本史】中世 源平の争乱・鎌倉幕府の成立・執権政治	今野洸、吉沢康太
第23回	【日本史】中世 元寇・鎌倉幕府の衰退・鎌倉新仏教・室町幕府の成立	今野洸、吉沢康太
第24回	【日本史】中世 日明貿易・応仁の乱・室町幕府の衰退・戦国時代	今野洸、吉沢康太
第25回	【日本史】近世 南蛮貿易・織豊政権・太閤検地・江戸幕府の成立	今野洸、吉沢康太
第26回	【日本史】近世 江戸幕府の成立・幕藩体制	今野洸、吉沢康太
第27回	【日本史】近世 鎖国政策・文治政治・正徳の治	今野洸、吉沢康太
第28回	【日本史】近世 享保の改革・田沼政治	今野洸、吉沢康太
第29回	【日本史】近世 寛政の改革・大御所時代・天保の改革	今野洸、吉沢康太
第30回	【日本史】近代 幕末・明治維新	今野洸、吉沢康太
準備学習等		・講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 ・各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。
教科書 参考書等		テキスト政治（大原出版）、テキスト経済（大原出版）、 テキスト社会（大原出版）、スタンダード問題集 社会科学（大原出版）、 日本史 テキスト・レジュメ・ドリル、スタンダード問題集 人文科学（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）

備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテストを実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。
----	--

038.社会科学演習 A		学科	行政公務員学科（1 年課程）・法律公務員学科（1 年課程）・ 総合公務員学科（1 年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	社会科学演習 A		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	今野洸、吉沢康太		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員				:		%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		社会系専門科目で学習するのは、政治・経済・社会である。各分野において問題演習を行い、実際の公務員試験で正答を導き出せるようにし、公務員試験合格を目的として学習を進める。 最終的には公務員試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することが目標である。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	過去問演習（政治の基本概念）					今野洸、吉沢康太		
第2回	過去問演習（幸福追求権）					今野洸、吉沢康太		
第3回	過去問演習（自由権・社会権）					今野洸、吉沢康太		
第4回	過去問演習（能動的権利・受益権）					今野洸、吉沢康太		
第5回	過去問演習（国会・内閣・裁判所）					今野洸、吉沢康太		
第6回	過去問演習（地方自治）					今野洸、吉沢康太		
第7回	過去問演習（経済社会のしくみ）					今野洸、吉沢康太		
第8回	過去問演習（企業の形態・市場メカニズム）					今野洸、吉沢康太		
第9回	過去問演習（国民所得と国富）					今野洸、吉沢康太		
第10回	過去問演習（インフレーションとデフレーション）					今野洸、吉沢康太		

第11回	過去問演習（金融制度・財政制度）	今野洸、吉沢康太
第12回	過去問演習（日本経済・国際経済の動向）	今野洸、吉沢康太
第13回	過去問演習（労働法規と労働問題）	今野洸、吉沢康太
第14回	過去問演習（日本の社会保障制度）	今野洸、吉沢康太
第15回	過去問演習（国際連盟・国際連合）	今野洸、吉沢康太
準備学習等	学習開始までに各自ノートを用意しておくこと。 各回の講義終了後は、各自学習内容を復習すること。	
教科書 参考書等	テキスト政治（大原出版）、テキスト経済（大原出版）、 テキスト社会（大原出版）、スタンダード問題集社会科学（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名	人文科学Ⅰ		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	蜂谷志穂、吉沢康太		授業回数		15回			
			成績評価方法	レポート		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		一般教養としての歴史（日本史・世界史）についての知識を習得することを目的とする。公務員試験における教養試験にも出題される科目の為、ウィークリーチェックで日々の習熟度を確認し、最終的には公務員試験レベルの問題を解けるようになることを到達目標として学習をすすめる。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	【日本史】近代 明治初期の外交・自由民権運動						蜂谷志穂 吉沢康太	
第2回	【日本史】近代 立憲体制の成立・条約改正						蜂谷志穂 吉沢康太	
第3回	【日本史】近代 日清戦争・日露戦争・韓国併合						蜂谷志穂 吉沢康太	
第4回	【日本史】近代 第一次世界大戦・政党政治の発達						蜂谷志穂 吉沢康太	
第5回	【日本史】近代 大正デモクラシー・大正～昭和初期の経済						蜂谷志穂 吉沢康太	
第6回	【日本史】近代 昭和初期の政党政治・満州事変						蜂谷志穂 吉沢康太	
第7回	【日本史】近代 第二次世界大戦・日本の戦後処理						蜂谷志穂 吉沢康太	
第8回	【日本史】現代 戦後の民主化・戦後政治の動向・朝鮮戦争						蜂谷志穂 吉沢康太	
第9回	【日本史】現代 国際社会への復帰・戦後の内閣・1960～70年代の日本						蜂谷志穂 吉沢康太	
第10回	【日本史】現代 国際社会への復帰・戦後の内閣・日本経済の諸問題						蜂谷志穂 吉沢康太	
第11回	【日本史】文化史 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化・国風文化・院政期の文化						蜂谷志穂 吉沢康太	

第12回	【日本史】文化史 鎌倉文化・南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化・寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	蜂谷志穂 吉沢康太
第13回	【世界史】東洋史 殷・周・春秋戦国・秦・前漢・新・後漢	蜂谷志穂 吉沢康太
第14回	【世界史】東洋史 魏・晋・南北朝・隋・唐・宋	蜂谷志穂 吉沢康太
第15回	【世界史】東洋史 元・明・清・清末	蜂谷志穂 吉沢康太
準備学習等	・講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 ・各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。	
教科書 参考書等	日本史 テキスト・レジュメ・ドリル、世界史 テキスト・レジュメ・ドリル・スタンダード問題集 人文科学（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	1 学年

科目名		人文科学 A		授業形態		講義		
				選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		60時間	
					単位数		2単位	
科目教員		蜂谷志穂、吉沢康太			授業回数		30回	
					成績 評価 方法	筆記試験		: 70 %
						平常点		: 30 %
								: %
科目教員のうち 実務経験教員								: %
								: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		一般教養としての歴史（日本史・世界史）についての知識を習得することを目的とする。公務員試験における教養試験にも出題される科目の為、ウィークリーチェックで日々の習熟度を確認し、最終的には公務員試験レベルの問題を解けるようになることを到達目標として学習をすすめる。						
授業計画								
回数		授業内容					科目教員	
第1回		【日本史】ガイダンス、 古代 原始 先土器・縄文・弥生時代					蜂谷志穂 吉沢康太	
第2回		【日本史】 古代 大和政権・聖徳太子・大化の改新					蜂谷志穂 吉沢康太	
第3回		【日本史】 古代 律令制度・班田収授法・租庸調・初期荘園					蜂谷志穂 吉沢康太	
第4回		【日本史】 古代 奈良時代・土地制度					蜂谷志穂 吉沢康太	
第5回		【日本史】 古代 律令政治の再建・摂関政治・荘園の発達					蜂谷志穂 吉沢康太	
第6回		【日本史】 古代 武士団の形成・院政・平氏政権					蜂谷志穂 吉沢康太	
第7回		【日本史】 中世 源平の争乱・鎌倉幕府の成立・執権政治					蜂谷志穂 吉沢康太	
第8回		【日本史】 中世 元寇・鎌倉幕府の衰退・鎌倉新仏教・室町幕府の成立					蜂谷志穂 吉沢康太	
第9回		【日本史】 中世 日明貿易・応仁の乱・室町幕府の衰退・戦国時代					蜂谷志穂 吉沢康太	
第10回		【日本史】 近世 南蛮貿易・織豊政権・太閤検地・江戸幕府の成立					蜂谷志穂 吉沢康太	

第11回	【日本史】近世 江戸幕府の成立・幕藩体制	蜂谷志穂 吉沢康太
第12回	【日本史】近世 鎖国政策・文治政治・正徳の治	蜂谷志穂 吉沢康太
第13回	【日本史】近世 享保の改革・田沼政治・寛政の改革・大御所時代・天保の改革	蜂谷志穂 吉沢康太
第14回	【日本史】近代 幕末・明治維新	蜂谷志穂 吉沢康太
第15回	【日本史】近代 明治初期の外交・自由民権運動	蜂谷志穂 吉沢康太
第16回	【日本史】近代 立憲体制の成立・条約改正	蜂谷志穂 吉沢康太
第17回	【日本史】近代 日清戦争・日露戦争・韓国併合	蜂谷志穂 吉沢康太
第18回	【日本史】近代 第一次世界大戦・政党政治の発達	蜂谷志穂 吉沢康太
第19回	【日本史】近代 大正デモクラシー・大正～昭和初期の経済	蜂谷志穂 吉沢康太
第20回	【日本史】近代 昭和初期の政党政治・満州事変	蜂谷志穂 吉沢康太
第21回	【日本史】近代 第二次世界大戦・日本の戦後処理	蜂谷志穂 吉沢康太
第22回	【日本史】現代 戦後の民主化・戦後政治の動向・朝鮮戦争	蜂谷志穂 吉沢康太
第23回	【日本史】現代 国際社会への復帰・戦後の内閣・1960～70年代の日本	蜂谷志穂 吉沢康太
第24回	【日本史】現代 国際社会への復帰・戦後の内閣・日本経済の諸問題	蜂谷志穂 吉沢康太
第25回	【日本史】文化史 飛鳥文化・白鳳文化・天平文化・弘仁貞観文化 国風文化・院政期の文化・鎌倉文化	蜂谷志穂 吉沢康太
第26回	【日本史】文化史 南北朝文化・北山文化・東山文化・桃山文化 寛永文化・元禄文化・化政文化・明治期の文化	蜂谷志穂 吉沢康太
第27回	【世界史】東洋史 殷・周・春秋戦国・秦	蜂谷志穂 吉沢康太
第28回	【世界史】東洋史 前漢・新・後漢・魏・晋・南北朝	蜂谷志穂 吉沢康太
第29回	【世界史】東洋史 隋・唐・宋・元	蜂谷志穂 吉沢康太
第30回	【世界史】東洋史 明・清・清末	蜂谷志穂 吉沢康太
準備学習等		・講義開始までに各自ノートを用意しておくこと。 ・各回の講義終了後は、スタンダード問題集等を使用して各自復習しておくこと。
教科書 参考書等		日本史 テキスト・レジュメ・ドリル、世界史 テキスト・レジュメ・ドリル スタンダード問題集人文科学（大原出版）、Monoxer（モノグサ株式会社）

備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。
----	--

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名		人文科学Ⅱ		授業形態		講義					
				選必の別		選必					
実務経験のある教員による科目の有無						授業時間数		30時間			
						単位数		1単位			
科目教員		佐藤弘章			授業回数		15回				
					成績 評価 方法	筆記試験			:	70	%
						平常点			:	30	%
									:		%
科目教員のうち 実務経験教員									:		%
									:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容											
実務経験教員の 実務経験内容											
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される分野である地理について、基礎的な知識の習得を図り今後の演習授業において更なる知識の習熟を目指す。日本のみならず世界情勢についても理解を深め、最終的には公務員試験一次試験を合格できる知識を身につけることを到達目標としている。									
授業計画											
回数		授業内容								科目教員	
第1回		世界の地形								佐藤弘章	
第2回		平野と海岸の地形								佐藤弘章	
第3回		特殊な地形と海洋								佐藤弘章	
第4回		世界の気候・植生・土壌								佐藤弘章	
第5回		気候区分								佐藤弘章	
第6回		ハイサーグラフ・地図の特色と利用								佐藤弘章	
第7回		アジア・ヨーロッパの農牧業								佐藤弘章	
第8回		アメリカの農牧業・世界の漁場								佐藤弘章	
第9回		エネルギー資源と原料資源								佐藤弘章	
第10回		世界の工業地域（ヨーロッパ）								佐藤弘章	
第11回		世界の工業地域（アメリカ・中国）								佐藤弘章	

第12回	生活と地域	佐藤弘章
第13回	日本の地理（国土・気候・海流）	佐藤弘章
第14回	日本の地理（農業・漁業・工業）	佐藤弘章
第15回	日本の地理（諸地域）	佐藤弘章
準備学習等	公務員試験合格のためには重要な科目となっているため、日々の授業や復習に努めてほしい。	
教科書 参考書等	地理 テキスト・ドリル（大原出版）、新詳高等地図（帝国書院） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・習熟度確認の為、定期的にウィークリーチェックテスト等を実施する場合がある。 ・授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。 ・状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。 ・受講生の理解度や習熟度の向上のため、ICT教育を実施する場合がある。	

042.適性検査演習Ⅳ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	適性検査演習Ⅳ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		2単位		
科目教員	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	実技試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		適性検査演習Ⅰで身に付けた適性検査の基礎的な知識・技能を生かし、さらなる応用力の養成を図る。また、社会問題研究により課題の解決法など自ら考察する力の養成を目的とする。適性検査については、適性検査の複数の試験形式や特徴に関するさらなる理解とその発展問題における習熟度の向上を目標とする。また、社会問題研究により時事に関する様々な知識を蓄積させ、その問題の本質について考察し、自らの言葉で表現する力の涵養を目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第2回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第3回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第4回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第5回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第6回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第7回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		
第8回	適性検査、性格検査問題演習					今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂		

第9回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第10回	適性検査、性格検査問題演習	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第11回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第12回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第13回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第14回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第15回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第16回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第17回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第18回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第19回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第20回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第21回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第22回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第23回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第24回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第25回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第26回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第27回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第28回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂

第29回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
第30回	社会問題研究・ディスカッション	今野洸、比企湖太郎 佐藤弘章、蜂谷志穂
準備学習等	基本的に予習は不要。適性検査のスキルアップの為に、問題演習後に誤答分析を行い、その都度復習することが必要である。	
教科書 参考書等	TEXT適性試験、公務員ガイドブック（大原出版）Monoxer（モノグサ株式会社） 高卒程度公務員試験直前対策模擬試験適性検査（株式会社ウィネット）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名	基礎国語演習Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	熊谷 拓郎		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	レポート		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験の受験科目である論作文の対策を実施する。採点のポイント、原稿用紙の使い方、表現における注意点、構成の方法などの基本事項を理解させることを目的とする。そして様々なテーマにおいて構想シートを作成させ、合格答案を作成できる能力を身に付けることを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	論作文入門					熊谷 拓郎		
第2回	論作文作成（自身の経験談）①					熊谷 拓郎		
第3回	論作文作成（自身の経験談）②					熊谷 拓郎		
第4回	論作文作成（自身の経験談）③					熊谷 拓郎		
第5回	論作文作成（自身の経験談）④					熊谷 拓郎		
第6回	論作文作成（人口問題）					熊谷 拓郎		
第7回	論作文作成（地域問題）					熊谷 拓郎		
第8回	論作文作成（社会福祉）					熊谷 拓郎		
第9回	論作文作成（教育問題）					熊谷 拓郎		
第10回	論作文作成（健康促進・スポーツ）					熊谷 拓郎		

第11回	論作文作成（経済問題）	熊谷 拓郎
第12回	論作文作成（環境問題）	熊谷 拓郎
第13回	論作文作成（労働問題）	熊谷 拓郎
第14回	論作文作成（ビジネス問題）	熊谷 拓郎
第15回	論作文作成（科学・医療問題）	熊谷 拓郎
準備学習等	論作文の学習は日々の積み重ねが大切である。うまく書けなかったテーマを中心に復習をしっかりと行い、改善点が不明な場合は教員に質問をして解決してほしい。	
教科書 参考書等	テキスト論作文対策（大原出版）、国語辞典もしくは電子辞書	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。なお、授業開始時までに市販の国語辞典もしくは電子辞書を各自準備しておくことを勧める。	

044.基礎数的演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	基礎数的演習		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間		
				単位数		2単位		
科目教員	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験(教養試験)の出題分野である数的処理（数的推理、判断推理・課題処理、平面図形・空間把握、資料解釈）について、上級試験レベルの問題を解答する力を養うことを目的とする。 本試験の出題傾向を分析し、演習問題を厳選したテキストを用いて、数的処理に関するより高い学力の完成を目指す。具体的には、国家一般職大卒程度、国税専門官、裁判所一般職大卒程度、地方上級・中級の各試験において出題された過去問題の演習を行う。 最終目標は、国家一般職大卒程度、地方上級、警察官・消防官（上級）試験で実施される教養試験において合格レベルに到達することである。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	整数（数的推理）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第2回	割合と比（数的推理）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第3回	方程式・不等式（数的推理）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第4回	速さ①（数的推理）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第5回	速さ②（数的推理）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		
第6回	数列（数的推理）					比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航		

第7回	計算パズル（数的推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第8回	場合の数①（数的推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第9回	場合の数②（数的推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第10回	確率（数的推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第11回	資料解釈	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第12回	論理（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第13回	集合の要素（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第14回	順序①（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第15回	順序②（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第16回	位置・方位（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第17回	対応①（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第18回	対応②（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第19回	勝敗（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第20回	うそつき（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第21回	暗号（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第22回	推理・手順（判断推理）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第23回	回転と軌跡（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第24回	道順・一筆書き・位相（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第25回	平面構成（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第26回	正多面体（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航

第27回	展開図（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第28回	立体構成（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第29回	図形の計量①（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
第30回	図形の計量②（図形）	比企湖太郎、佐藤弘章 佐々木智也、高橋航
準備学習等	授業の中で解説ができなかった問題については、各自予習・復習（自学自習）で補う必要がある。	
教科書 参考書等	テキスト 数的処理AⅠ（判断推理）・数的処理AⅡ（図形）・数的処理AⅢ（数的推理・資料解釈）（大原出版） 実戦問題集 数的処理AⅠ（判断推理）・数的処理AⅡ（図形）・数的処理AⅢ（数的処理・資料解釈）（大原出版） Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。課題や授業の一部にMonoxerを使用する可能性がある。	

045.憲法概論		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）				
		学年	1 学年				
科目名	憲法概論		授業形態		講義		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間	
				単位数		2単位	
科目教員	青柳 清貴		授業回数		30回		
			成績評価方法	筆記試験		:	70 %
				平常点		:	30 %
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員						:	%
						:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		法律系専門科目で最初に学習するのが、憲法である。本講義では法律の完全初心者が、憲法を通じて基本的な法律用語、法理論などを習得し、公務員試験の出題傾向である憲法判例を中心とした問題に対応できる力を養うことを目的とする。また、公務員試験に出題される射程内に入った新判例についても適宜紹介し、知識の幅を広げることに留意する。さらに憲法を学んだあとに学ぶ民法や行政法の授業をスムーズに始められるよう法的思考方法を培うことも併せて到達目標とする。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	憲法総説（立憲主義の歴史、憲法の分類、憲法の特質）					青柳 清貴	
第2回	日本国憲法総説（日本の憲法史、日本国憲法と明治憲法の対比）					青柳 清貴	
第3回	法の支配と法治主義、さまざまな国家観					青柳 清貴	
第4回	国民主権（権力性の契機と正当性の契機）、天皇制、平和主義					青柳 清貴	
第5回	憲法総説のまとめ					青柳 清貴	
第6回	人権総論（人権の分類、享有主体、性質、人権保障の形態）					青柳 清貴	
第7回	人権保障の限界、公務員の人権、在監者の人権、私人間効力					青柳 清貴	
第8回	人権各論①法の下での平等、幸福追求権と新しい人権、思想・良心の自由					青柳 清貴	
第9回	人権各論②信教の自由、学問の自由、表現の自由総論					青柳 清貴	

第10回	人権各論③表現の自由（知る権利、アクセス権、集団行動の自由、検閲）	青柳 清貴
第11回	人権各論④表現の自由に対する規制、職業選択の自由	青柳 清貴
第12回	人権各論⑤居住・移転の自由、財産権の保障	青柳 清貴
第13回	人権各論⑥人身の自由（適正手続きの保障、被疑者・被告人の権利）	青柳 清貴
第14回	人権各論⑦生存権、教育を受ける権利、労働基本権	青柳 清貴
第15回	人権各論⑧参政権、請願権、裁判を受ける権利	青柳 清貴
第16回	人権各論⑨国家賠償請求権、刑事補償請求権、国民の義務	青柳 清貴
第17回	人権のまとめ	青柳 清貴
第18回	統治機構総論、三権分立、立法権総論	青柳 清貴
第19回	国会の地位・構成・活動、衆議院の優越	青柳 清貴
第20回	選挙と政党、国会議員の特権、国会・各議院の権能	青柳 清貴
第21回	国政調査権（行使方法と限界）、行政権総論	青柳 清貴
第22回	議院内閣制、独立行政委員会、内閣の組織	青柳 清貴
第23回	内閣総理大臣の地位と権能、内閣の権能と責任	青柳 清貴
第24回	司法権総論、司法権の限界、裁判所の構成と権能	青柳 清貴
第25回	国民審査、最高裁判所と下級裁判所、違憲審査制、裁判の諸原則	青柳 清貴
第26回	司法権の独立、財政総論	青柳 清貴
第27回	財政民主主義、租税法律主義	青柳 清貴
第28回	予算の法的性質、予備費、決算	青柳 清貴
第29回	地方自治総論、地方公共団体の組織・権能、条例と法律の関係、憲法改正	青柳 清貴
第30回	統治のまとめ、憲法全体の総まとめ	青柳 清貴
準備学習等	短期間で憲法の人権、統治を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト憲法（大原出版）	

備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。
----	---

046.憲法演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	憲法演習		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間		
				単位数		2単位		
科目教員	青柳 清貴		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員					:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、憲法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。また、適宜国家総合職の問題も扱うことで、昨今の公務員試験の難化傾向に対応できるようにする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	憲法総説（立憲主義の歴史、憲法の分類、憲法の特質）					青柳 清貴		
第2回	日本国憲法総説（日本の憲法史、日本国憲法と明治憲法の対比）					青柳 清貴		
第3回	法の支配と法治主義、さまざまな国家観					青柳 清貴		
第4回	国民主権（権力性の契機と正当性の契機）、天皇制、平和主義					青柳 清貴		
第5回	憲法総説のまとめ					青柳 清貴		
第6回	人権総論（人権の分類、享有主体、性質、人権保障の形態）					青柳 清貴		
第7回	人権保障の限界、公務員の人権、在監者の人権、私人間効力					青柳 清貴		
第8回	人権各論①法の下での平等、幸福追求権と新しい人権、思想・良心の自由					青柳 清貴		
第9回	人権各論②信教の自由、学問の自由、表現の自由総論					青柳 清貴		
第10回	人権各論③表現の自由（知る権利、アクセス権、集団行動の自由、検閲）					青柳 清貴		

第11回	人権各論④表現の自由に対する規制、職業選択の自由	青柳 清貴
第12回	人権各論⑤居住・移転の自由、財産権の保障	青柳 清貴
第13回	人権各論⑥人身の自由（適正手続きの保障、被疑者・被告人の権利）	青柳 清貴
第14回	人権各論⑦生存権、教育を受ける権利、労働基本権	青柳 清貴
第15回	人権各論⑧参政権、請願権、裁判を受ける権利	青柳 清貴
第16回	人権各論⑨国家賠償請求権、刑事補償請求権、国民の義務	青柳 清貴
第17回	人権のまとめ	青柳 清貴
第18回	統治機構総論、三権分立、立法権総論	青柳 清貴
第19回	国会の地位・構成・活動、衆議院の優越	青柳 清貴
第20回	選挙と政党、国会議員の特権、国会・各議院の権能	青柳 清貴
第21回	国政調査権（行使方法と限界）、行政権総論	青柳 清貴
第22回	議院内閣制、独立行政委員会、内閣の組織	青柳 清貴
第23回	内閣総理大臣の地位と権能、内閣の権能と責任	青柳 清貴
第24回	司法権総論、司法権の限界、裁判所の構成と権能	青柳 清貴
第25回	国民審査、最高裁判所と下級裁判所、違憲審査制、裁判の諸原則	青柳 清貴
第26回	司法権の独立、財政総論	青柳 清貴
第27回	財政民主主義、租税法律主義	青柳 清貴
第28回	予算の法的性質、予備費、決算	青柳 清貴
第29回	地方自治総論、地方公共団体の組織・権能、条例と法律の関係、憲法改正	青柳 清貴
第30回	統治のまとめ、憲法全体の総まとめ	青柳 清貴
準備学習等	短期間で憲法の人権、統治を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト憲法（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名	民法概論		授業形態		講義	
			選必の別		選必	
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		90時間	
			単位数		3単位	
科目教員	青柳 清貴		授業回数		45回	
			成績評価方法	筆記試験 : 70 %		
				平常点 : 30 %		
				: %		
				: %		
科目教員のうち 実務経験教員					: %	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容						
実務経験教員の 実務経験内容						
授業目的 到達目標		法律系専門科目で公務員試験の合否を握る最大の科目といわれるのが、民法である。1000条を優に超える民法の学習は容易ではないが、方法さえ間違わなければ公務員受験生の強力な武器になりうる。この方法とは問題文を読んで何を問われているかを把握し、必要な情報を抽出し、その関係を視覚的な図に表し、条文を当てはめて考えることである。本講義はこの方法を身につけるための「訓練の場」であると位置づけ、常に具体例を挙げつつ授業を行う。その上で、特に教員から指示がなくても自らの力でこの方法を実践できるようにすることを到達目標とする。なお、学習内容が膨大なものとなるため、息切れすることがないように適宜小テストを実施する予定である。				
授業計画						
回数	授業内容					科目教員
第1回	民法総論①（民法とは、静的安全と動的安全の観点、民法の諸原則）					青柳 清貴
第2回	民法総論②（民法改正の概説、私法と公法、民法の構造）					青柳 清貴
第3回	民法総論③（一般法と特別法、信義則、権利濫用の法理）					青柳 清貴
第4回	民法総論まとめ					青柳 清貴
第5回	総則①自然人（民法上のさまざまな能力、制限能力者制度）					青柳 清貴
第6回	総則②自然人（胎児の地位、失踪宣告）、物について					青柳 清貴
第7回	総則③法人（法人学説、一般法人法、法人の不法行為）					青柳 清貴
第8回	総則④法律行為（法律要件と法律効果、契約・合同行為・単独行為）					青柳 清貴

第9回	総則⑤意思表示（心裡留保、虚偽表示、錯誤、詐欺、強迫）	青柳 清貴
第10回	総則⑥無効と取消し、代理（代理人、代理行為、無権代理）	青柳 清貴
第11回	総則⑦表見代理、条件と期限	青柳 清貴
第12回	総則⑧時効（時効の効力、時効学説、取得時効と消滅時効、更新と完成猶予）	青柳 清貴
第13回	総則まとめ	青柳 清貴
第14回	物権①物権総論（物権法定主義、一物一権主義、物権の分類）	青柳 清貴
第15回	物権②不動産物権変動（登記、背信的悪意者、相続と登記、時効と登記）	青柳 清貴
第16回	物権③動産物権変動（引渡しの形態、即時取得）	青柳 清貴
第17回	物権④占有権と所有権（相隣関係、原始取得、共有）	青柳 清貴
第18回	物権⑤用益物権（地上権と地役権）	青柳 清貴
第19回	物権まとめ	青柳 清貴
第20回	債権①債権総論（債権とは、物権との相違点、契約自由の原則）	青柳 清貴
第21回	債権②選択債権、履行の強制、債務不履行（要件と効果）	青柳 清貴
第22回	債権③受領遅滞、債権者代位権	青柳 清貴
第23回	債権④債権者代位権の転用	青柳 清貴
第24回	債権⑤詐害行為取消権	青柳 清貴
第25回	債権⑥債権譲渡	青柳 清貴
第26回	債権⑦債権の消滅（弁済、代物弁済、混同、免除、相殺）	青柳 清貴
第27回	債権⑧多数当事者の債権債務関係	青柳 清貴
第28回	債権⑨契約総論（双務契約の性質、危険負担、解除）	青柳 清貴
第29回	債権⑩契約各論（贈与契約、売買契約）	青柳 清貴
第30回	債権⑪契約各論（賃貸借契約、請負契約）	青柳 清貴
第31回	債権⑫契約各論（委任契約、事務管理、不当利得）	青柳 清貴
第32回	債権⑬不法行為総論（要件と効果）	青柳 清貴

第33回	債権⑭不法行為各論（特殊な不法行為、損害賠償の減額調整）	青柳 清貴
第34回	債権まとめ	青柳 清貴
第35回	担保物権①担保物権総論（担保物権の通有性と効力）	青柳 清貴
第36回	担保物権②質権、留置権	青柳 清貴
第37回	担保物権③抵当権（被担保債権、物上代位）	青柳 清貴
第38回	担保物権④抵当権（法定地上権）	青柳 清貴
第39回	担保物権まとめ	青柳 清貴
第40回	家族法①親族（親族とは、婚姻、離婚）	青柳 清貴
第41回	家族法②親族（実子関係、養子、親権）	青柳 清貴
第42回	家族法③相続（相続人、相続の承認・放棄、相続分）	青柳 清貴
第43回	家族法④遺言（遺言の種類、遺留分）	青柳 清貴
第44回	家族法まとめ	青柳 清貴
第45回	民法全体の総まとめ	青柳 清貴
準備学習等	短期間で民法全体を扱うことから、かなり密度の濃い授業内容となる。そのため授業に対する積極的な参加はもちろん、授業後の復習が不可欠である。また、習得した知識が問題を解く上でどのようにいかされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト民法（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。	

048.民法演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）				
		学年	1 学年				
科目名	民法演習		授業形態		演習		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間	
				単位数		3単位	
科目教員	青柳 清貴		授業回数		45回		
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70 %
				平常点		:	30 %
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員						:	%
						:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、民法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	民法総則正誤問題①					青柳 清貴	
第2回	民法総則正誤問題②					青柳 清貴	
第3回	民法の諸原則五択演習					青柳 清貴	
第4回	総則五択演習①失踪宣告、制限能力者制度					青柳 清貴	
第5回	総則五択演習②法人					青柳 清貴	
第6回	総則五択演習③意思表示 i					青柳 清貴	
第7回	総則五択演習④意思表示 ii					青柳 清貴	
第8回	総則五択演習⑤意思表示 iii					青柳 清貴	
第9回	総則五択演習⑥代理 i					青柳 清貴	
第10回	総則五択演習⑦代理 ii					青柳 清貴	

第11回	総則五択演習⑧無効・取消し、時効	青柳 清貴
第12回	物権正誤問題①	青柳 清貴
第13回	物権正誤問題②	青柳 清貴
第14回	物権五択演習①物権総論	青柳 清貴
第15回	物権五択演習②不動産物権変動 i	青柳 清貴
第16回	物権五択演習③不動産物権変動 ii	青柳 清貴
第17回	物権五択演習④動産物権変動 i	青柳 清貴
第18回	物権五択演習⑤動産物権変動 ii	青柳 清貴
第19回	物権五択演習⑥占有権と所有権	青柳 清貴
第20回	物権五択演習⑦用益物権	青柳 清貴
第21回	債権正誤問題①	青柳 清貴
第22回	債権正誤問題②	青柳 清貴
第23回	債権五択演習①債権総論	青柳 清貴
第24回	債権五択演習②選択債権、履行の強制、債務不履行	青柳 清貴
第25回	債権五択演習③債権者代位権	青柳 清貴
第26回	債権五択演習④詐害行為取消権	青柳 清貴
第27回	債権五択演習⑤債権譲渡、債権の消滅	青柳 清貴
第28回	債権五択演習⑥多数当事者の債権債務関係	青柳 清貴
第29回	債権五択演習⑦贈与契約、売買契約	青柳 清貴
第30回	債権五択演習⑧賃貸借契約、請負契約	青柳 清貴
第31回	債権五択演習⑨委任契約、事務管理、不当利得	青柳 清貴
第32回	債権五択演習⑩不法行為	青柳 清貴
第33回	担保物権正誤問題①	青柳 清貴
第34回	担保物権正誤問題②	青柳 清貴

第35回	担保物権五択演習①担保物権総論	青柳 清貴
第36回	担保物権五択演習②質権、留置権	青柳 清貴
第37回	担保物権五択演習③抵当権 i	青柳 清貴
第38回	担保物権五択演習④抵当権 ii	青柳 清貴
第39回	家族法正誤問題	青柳 清貴
第40回	家族法五択演習①親族	青柳 清貴
第41回	家族法五択演習②結婚、離婚	青柳 清貴
第42回	家族法五択演習③実子、養子、親権	青柳 清貴
第43回	家族法五択演習④相続	青柳 清貴
第44回	家族法五択演習⑤遺言	青柳 清貴
第45回	民法総合問題	青柳 清貴
準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト民法、実戦問題集民法Ⅰ、実戦問題集民法Ⅱ（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名	行政法概論		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無			授業時間数		60時間			
			単位数		2単位			
科目教員	青柳 清貴		授業回数		30回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員					:	%		
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		行政職公務員を目指す受験生にとって、本講義で習得する行政法の知識は公務員試験合格に必要なだけでなく、公務員に任官した後も日常的に用いる知識となることから、積極的に知識を吸収する必要がある。本講義では、初学者にとって特にとっつきにくいといわれる難解な行政法の諸概念について具体例を挙げつつ説明し、無味乾燥的な問題文を具体的なイメージとして喚起できるようにすることを目標とする。さらに、公務員試験の出題の射程内に入った新判例を随時紹介し、知識をアップデートすることにも注力する。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	行政法総論①行政法とは、行政法の法源、私法関係と公法					青柳 清貴		
第2回	行政法総論②法治主義、行政主体とは、法律の留保に関する学説					青柳 清貴		
第3回	行政立法（法規命令と行政規則）					青柳 清貴		
第4回	行政行為①行政行為の意義、種類、効力					青柳 清貴		
第5回	行政行為②行政行為の瑕疵、自由裁量と羈束裁量					青柳 清貴		
第6回	行政行為③行政行為の取消しと撤回、行政行為の附款					青柳 清貴		
第7回	行政上の強制措置①直接強制、執行罰、行政代執行、強制徴収					青柳 清貴		
第8回	行政上の強制措置②即時強制、行政罰その他の制裁					青柳 清貴		
第9回	行政指導、行政計画					青柳 清貴		

第10回	行政契約、行政調査	青柳 清貴
第11回	第10回までのまとめ	青柳 清貴
第12回	行政手続法①申請に対する処分、不利益処分	青柳 清貴
第13回	行政手続法②届出、意見公募、行政指導に関する規定	青柳 清貴
第14回	情報公開法（開示請求、開示決定・不開示決定、インカメラ審査）	青柳 清貴
第15回	行政救済法総論（行政救済の仕組み）	青柳 清貴
第16回	国家賠償法①総論、1条責任	青柳 清貴
第17回	国家賠償法②2条責任、最終的賠償責任者、相互保証主義	青柳 清貴
第18回	損失補償、損失補償と国家賠償の関係	青柳 清貴
第19回	国家賠償法、損失補償に関する諸判例	青柳 清貴
第20回	国家賠償法、損失補償のまとめ	青柳 清貴
第21回	行政不服審査法①不服申立ての種類、手続概論	青柳 清貴
第22回	行政不服審査法②不服申立ての要件、当事者能力、当事者適格	青柳 清貴
第23回	行政不服審査法③審査請求の手続と裁決、執行停止	青柳 清貴
第24回	行政不服審査法まとめ	青柳 清貴
第25回	行政事件訴訟法①総論（処分性、原告適格、訴えの利益、出訴機関）	青柳 清貴
第26回	行政事件訴訟法②取消訴訟の原告適格、訴えの利益	青柳 清貴
第27回	行政事件訴訟法③無効等確認訴訟	青柳 清貴
第28回	行政事件訴訟法④不作為の違法確認訴訟、義務付け訴訟、差止訴訟、客観訴訟	青柳 清貴
第29回	行政事件訴訟法まとめ	青柳 清貴
第30回	行政法全体のまとめ	青柳 清貴
準備学習等	行政法の世界では日常生活では使わない用語が多数登場する。そのため、問題文中の専門的な用語を目の当たりにしても即時にその意味が想起できるようになるまで、テキストや授業ノートを反復して確認し、これらの知識を「当たり前の知識」として定着させることに意識的に取り組んでほしい。また、習得した知識が問題を解く上でどのようにかされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	

教科書 参考書等	テキスト行政法（大原出版）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。

050.行政法演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）				
		学年	1 学年				
科目名	行政法演習		授業形態		演習		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		60時間	
				単位数		2単位	
科目教員	青柳 清貴		授業回数		30回		
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70 %
				平常点		:	30 %
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員						:	%
						:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		正誤問題で知識に欠落部分がないか確認したうえで、公務員試験過去問（五択問題）に取り組む。問題演習を通じて、行政法概論の授業で学んだ知識を再確認し、弱点を発見し、克服することを目的とする。演習を通じて五択問題を選択肢の組み合わせで解くのではなく、すべての肢を正誤問題として解く習慣をつけることで、偶然ではなく、正しい知識に裏付けされた正解にたどり着けるようにする。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	行政法総論正誤問題①					青柳 清貴	
第2回	行政法総論正誤問題②					青柳 清貴	
第3回	行政法総論五択演習①					青柳 清貴	
第4回	行政法総論五択演習②					青柳 清貴	
第5回	行政立法五択演習					青柳 清貴	
第6回	行政行為五択演習①					青柳 清貴	
第7回	行政行為五択演習②					青柳 清貴	
第8回	行政行為五択演習③					青柳 清貴	
第9回	行政上の強制措置五択演習①					青柳 清貴	
第10回	行政上の強制措置五択演習②					青柳 清貴	

第11回	行政指導、行政計画五択演習	青柳 清貴
第12回	行政計画、行政調査五択演習	青柳 清貴
第13回	行政手続法正誤問題	青柳 清貴
第14回	行政手続法五択演習①	青柳 清貴
第15回	行政手続法五択演習②	青柳 清貴
第16回	情報公開法五択演習	青柳 清貴
第17回	行政救済法正誤問題①行政救済法総論	青柳 清貴
第18回	行政救済法正誤問題②国家賠償、損失補償	青柳 清貴
第19回	国家賠償法五択演習①	青柳 清貴
第20回	国家賠償法五択演習②、損失補償五択演習	青柳 清貴
第21回	行政不服審査法正誤問題	青柳 清貴
第22回	行政不服審査法五択演習①	青柳 清貴
第23回	行政不服審査法五択演習②	青柳 清貴
第24回	行政不服審査法五択演習③	青柳 清貴
第25回	行政事件訴訟法正誤問題	青柳 清貴
第26回	行政事件訴訟法五択演習①	青柳 清貴
第27回	行政事件訴訟法五択演習②	青柳 清貴
第28回	行政事件訴訟法五択演習③	青柳 清貴
第29回	行政事件訴訟法五択演習④	青柳 清貴
第30回	行政法総合問題	青柳 清貴
準備学習等	過去問は受験対策上最良の問題集であると言われる。そのため何を理解し、何を理解できていないかを常に意識して問題演習に臨み、繰り返し解くよう復習に力を入れて欲しい。また、些細な疑問点についても放置せず、教員に質問しその日のうちに解決するよう努めてもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト行政法、実戦問題集行政法（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

051.社会学		学科	行政公務員学科（1 年課程）・法律公務員学科（1 年課程）・ 総合公務員学科（1 年課程）				
		学年	1 学年				
科目名	社会学		授業形態		講義		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間	
				単位数		1単位	
科目教員	青柳 清貴		授業回数		15回		
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70 %
				平常点		:	30 %
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員					:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		国家一般職試験、国税専門官試験、一部の地方上級職試験で出題される社会学を短期間で習得することを目的とする。公務員試験で出題される社会学は、知識を正確に記憶していれば正答を導き出せる問題がほとんどである。このことから、いかに短期間で、いかに効率よく、いかに強固に記憶を定着させるかが重要となる。本講義では社会学の著名な学者やその研究内容、実績の説明が中心となるが、これらの知識の記憶方法も併せて紹介する予定である。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	社会学概論（社会学とは、社会とは、社会学の発展史）					青柳 清貴	
第2回	総合社会学（コント、スペンサー）					青柳 清貴	
第3回	社会学主義（デュルケーム、方法論的集団主義、自殺論）					青柳 清貴	
第4回	理解社会学（ウェーバー、方法論的個人主義、価値自由）					青柳 清貴	
第5回	形式社会学（ジンメル、方法論的關係主義、心的相互作用）					青柳 清貴	
第6回	機能主義的 sociology（パーソンズ、マートン、構造と機能論）					青柳 清貴	
第7回	ミクロ社会学、マルクスの社会学（史的唯物論）					青柳 清貴	
第8回	パーソナリティ論、社会的性格					青柳 清貴	
第9回	文化論、地位と役割					青柳 清貴	

第10回	階級と階層、社会運動論	青柳 清貴
第11回	社会集団（組織集団と未組織集団、テンニース、マッキーヴァー、クーリー）	青柳 清貴
第12回	家族論（家族の機能、家族間のリーダーシップ、家族の変化）	青柳 清貴
第13回	都市社会学（パーク、バージェス、ホイット）	青柳 清貴
第14回	組織論、大衆社会論	青柳 清貴
第15回	社会学の総まとめ	青柳 清貴
準備学習等	受験対策上、社会学に多くの時間を割けないのが実情である。したがって、意識的に暗記の時間を設け、時機を見て問題集でアウトプットする、ということを短期間のうちに繰り返してほしい。また、習得した知識が問題を解く上でどのように生かされるかを確認するため小テストなどにも積極的に取り組んでもらいたい。	
教科書 参考書等	テキスト社会学（大原出版）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名		ミクロ経済学		授業形態		講義			
				選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		60時間		
					単位数		2単位		
科目教員		岩 淵 修		授業回数		30回			
				成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
					平常点		:	30	%
							:		%
							:		%
科目教員のうち 実務経験教員							:	%	
							:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容									
実務経験教員の 実務経験内容									
授業目的 到達目標		消費者の需要分析、企業の生産分析、市場での需要と供給の分析、不完全競争、外部性や公共財、貿易理論などの学習を通してミクロ経済学の基本的な考え方をマスターし、不確実性と情報の非対称性やゲーム理論を理解する。							
授業計画									
回数	授業内容						科目教員		
第1回	市場機構と余剰						岩 淵 修		
第2回	市場均衡の安定性と調整過程						岩 淵 修		
第3回	価格弾性と課税の負担						岩 淵 修		
第4回	消費者行動と無差別曲線分析						岩 淵 修		
第5回	所得の変化の効果						岩 淵 修		
第6回	価格の変化の効果						岩 淵 修		
第7回	需要曲線の導出						岩 淵 修		
第8回	労働の供給曲線						岩 淵 修		
第9回	異時点間の消費と貯蓄						岩 淵 修		
第10回	短期費用関数と利潤最大化						岩 淵 修		
第11回	与件の変化と利潤最大化						岩 淵 修		

第12回	長期費用関数と利潤最大化	岩淵 修
第13回	生産関数と利潤最大化	岩淵 修
第14回	供給曲線の導出	岩淵 修
第15回	ボックスダイアグラムと パレート最適	岩淵 修
第16回	厚生経済学の基本定理	岩淵 修
第17回	不完全競争の基礎理論	岩淵 修
第18回	複占とクールノー・モデル	岩淵 修
第19回	シュタッケルベルク・モデルとベルトラン・モデル	岩淵 修
第20回	屈折需要曲線と独占的競争	岩淵 修
第21回	市場の失敗と外部性	岩淵 修
第22回	公共財と自然独占	岩淵 修
第23回	不確実性とリスクの経済学	岩淵 修
第24回	情報の非対称性	岩淵 修
第25回	ゲーム理論とナッシュ均衡	岩淵 修
第26回	混合戦略ゲームと 展開型ゲーム	岩淵 修
第27回	投票のパラドックスと 中位投票者定理	岩淵 修
第28回	比較生産費説	岩淵 修
第29回	ヘクシャー・オーリーの定理	岩淵 修
第30回	貿易政策の効果	岩淵 修

準備学習等	ミクロ経済学を初めて学ぶという人が多いと思われるので、予習よりは復習を中心に行うこと。特に経済学用語はわかりやすい言葉に置き換えて覚え、講義で詳しく説明した箇所を中心に後でよく見直すこと。
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅰ（大原出版株式会社）
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名		ミクロ経済学演習		授業形態		演習		
				選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		60時間	
					単位数		2単位	
科目教員		岩 淵 修			授業回数		30回	
					成績 評価 方法	筆記試験		: 70 %
						平常点		: 30 %
								: %
科目教員のうち 実務経験教員								: %
								: %
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		講義で学習したミクロ経済学に関する実際の問題を解いて、解き方を学習するとともに、ミクロ経済学の理解を確かめ、問題を解くことで理解を一層深める。						
授業計画								
回数		授業内容					科目教員	
第1回		余剰分析と厚生損失					岩 淵 修	
第2回		ワルラス安定とマーシャル安定					岩 淵 修	
第3回		需要の価格弾力性					岩 淵 修	
第4回		無差別曲線と最適消費					岩 淵 修	
第5回		所得・消費曲線と所得弾力性					岩 淵 修	
第6回		代替効果と所得効果					岩 淵 修	
第7回		最適消費と需要曲線					岩 淵 修	
第8回		後方屈伸型労働供給曲線					岩 淵 修	
第9回		異時点間の消費と貯蓄					岩 淵 修	
第10回		利潤最大化条件と 損益分岐点と操業停止点					岩 淵 修	
第11回		固定費用や可変費用の変化の効果					岩 淵 修	
第12回		長期利潤最大化条件					岩 淵 修	

第13回	生産関数と利潤最大化条件	岩淵 修
第14回	供給曲線の導出	岩淵 修
第15回	パレート最適条件	岩淵 修
第16回	厚生経済学の第1・第2基本定理	岩淵 修
第17回	独占の利潤最大化条件	岩淵 修
第18回	クールノー・モデル	岩淵 修
第19回	シュタッケルベルク・モデルとベルトラン・モデル	岩淵 修
第20回	屈折需要曲線と独占的競争	岩淵 修
第21回	外部経済と外部不経済	岩淵 修
第22回	公共財と自然独占	岩淵 修
第23回	リスクに対する態度と期待効用	岩淵 修
第24回	逆選択とモラル・ハザード	岩淵 修
第25回	ゲーム理論と標準型ゲーム	岩淵 修
第26回	混合戦略ゲーム	岩淵 修
第27回	投票のパラドックス	岩淵 修
第28回	リカードの比較生産費説	岩淵 修
第29回	ヘクシャー・オリーンの定理と関連定理	岩淵 修
第30回	貿易政策の効果	岩淵 修
準備学習等	事前に講義内容の確認をしてから問題を解き、解けなかった問題や不明な点は、再度理論内容をテキストやノートで復習することが大切となる。	
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅰ、実戦問題集Ⅰ（大原出版株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１ 学年

科目名		マクロ経済学		授業形態		講義				
				選必の別		選必				
実務経験のある教員による科目の有無						授業時間数		60時間		
						単位数		2単位		
科目教員		岩 淵 修			授業回数		30回			
					成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
						平常点		:	30	%
								:		%
								:		%
科目教員のうち 実務経験教員								:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容										
実務経験教員の 実務経験内容										
授業目的 到達目標		国民経済計算の基本構造を把握し、標準的なケインジアン・モデルである45度線モデル、IS-LMモデル、AD-ASモデル、国際経済モデルを学習するとともに、マネタリスや合理的期待学派の経済学などを理解し、マクロ経済政策の効果を考察する。								
授業計画										
回数		授業内容							科目教員	
第1回		経済活動の測定と国民所得							岩 淵 修	
第2回		産業連関表と分析							岩 淵 修	
第3回		45度線モデル							岩 淵 修	
第4回		45度線モデルと経済政策							岩 淵 修	
第5回		ケインズの投資関数論							岩 淵 修	
第6回		貨幣数量説と貨幣需要							岩 淵 修	
第7回		貨幣市場の部分均衡分析							岩 淵 修	
第8回		IS-LM分析モデル①							岩 淵 修	
第9回		IS-LM分析モデル②							岩 淵 修	
第10回		IS-LMモデルと経済政策							岩 淵 修	
第11回		貨幣供給と金融政策							岩 淵 修	

第12回	為替レートと為替レート決定理論	岩渕 修
第13回	マンデル・フレミング・モデル①	岩渕 修
第14回	マンデル・フレミング・モデル②	岩渕 修
第15回	消費関数論争	岩渕 修
第16回	ローレンツ曲線とジニ係数	岩渕 修
第17回	投資関数論	岩渕 修
第18回	経済成長と成長会計	岩渕 修
第19回	ハロッド・ドーマー・モデル	岩渕 修
第20回	ソロー・モデル	岩渕 修
第21回	労働市場論	岩渕 修
第22回	AD-ASモデル	岩渕 修
第23回	AD-ASモデルと経済政策	岩渕 修
第24回	ペバレッジ曲線と自然失業率	岩渕 修
第25回	フィリップス曲線	岩渕 修
第26回	IAD曲線とIAS曲線①	岩渕 修
第27回	IAD曲線とIAS曲線②	岩渕 修
第28回	合理的期待形成仮説	岩渕 修
第29回	金融市場と資産価格	岩渕 修
第30回	マクロ経済政策	岩渕 修
準備学習等	マクロ経済学を初めて学ぶという人が多いと思われるので、予習よりは復習を中心に行ってください。特に経済学用語はわかりやすい言葉に置き換えて覚え、講義で詳しく説明した箇所を中心に、よく学習すること。	
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅱ（大原出版株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

055. マクロ経済学演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）				
		学年	1 学年				
科目名	マクロ経済学演習		授業形態		演習		
			選必の別		選必		
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		90時間	
				単位数		3単位	
科目教員	岩 淵 修		授業回数		45回		
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70 %
				平常点		:	30 %
						:	%
						:	%
科目教員のうち 実務経験教員					:	%	
						:	%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容							
実務経験教員の 実務経験内容							
授業目的 到達目標		講義で学習したマクロ経済学に関する実際の問題を解いて、解き方を学習するとともに、マクロ経済学の理解を確かめ、問題を解くことで理解を一層深める。					
授業計画							
回数	授業内容					科目教員	
第1回	国民所得の概念					岩 淵 修	
第2回	国民経済計算					岩 淵 修	
第3回	産業連関表					岩 淵 修	
第4回	産業連関分析					岩 淵 修	
第5回	財市場と45度線分析					岩 淵 修	
第6回	有効需要の原理					岩 淵 修	
第7回	経済政策と乗数効果					岩 淵 修	
第8回	ケインズの投資関数論					岩 淵 修	
第9回	古典派の経済学と貨幣数量説					岩 淵 修	
第10回	流動性選好説とケインズ					岩 淵 修	
第11回	貨幣市場の部分均衡分析					岩 淵 修	
第12回	IS曲線、LM曲線の導出					岩 淵 修	

第13回	IS-LM分析モデル①	岩渕 修
第14回	IS-LM分析モデル②	岩渕 修
第15回	経済政策とクラウディング・アウト効果	岩渕 修
第16回	マネー・ストックの定義と分類	岩渕 修
第17回	ハイ・パワード・マネーと貨幣乗数	岩渕 修
第18回	国際収支表とISバランス	岩渕 修
第19回	為替レート決定の理論	岩渕 修
第20回	Jカーブ効果とマーシャル・ラーナー条件	岩渕 修
第21回	マンデル・フレミング・モデル①	岩渕 修
第22回	マンデル・フレミング・モデル②	岩渕 修
第23回	ローレンツ曲線とジニ係数	岩渕 修
第24回	消費関数論争	岩渕 修
第25回	いろいろな投資関数	岩渕 修
第26回	成長会計	岩渕 修
第27回	ハロッド・ドーマー・モデル	岩渕 修
第28回	ソロー・モデル①	岩渕 修
第29回	ソロー・モデル②	岩渕 修
第30回	内生的経済成長モデル	岩渕 修
第31回	労働市場	岩渕 修
第32回	ベバレッジ曲線と自然失業率	岩渕 修
第33回	AD曲線とAS曲線の導出	岩渕 修
第34回	AD－AS分析モデル①	岩渕 修
第35回	AD－AS分析モデル②	岩渕 修
第36回	フィリップス曲線と自然失業率仮説	岩渕 修

第37回	IAD曲線とIAS曲線の導出	岩淵 修
第38回	IAD－IAS曲線分析モデル①	岩淵 修
第39回	IAD－IAS曲線分析モデル②	岩淵 修
第40回	マネタリストの経済学	岩淵 修
第41回	合理的期待形成仮説	岩淵 修
第42回	金融市場とイールド・カーブ①	岩淵 修
第43回	金融市場とイールド・カーブ②	岩淵 修
第44回	マクロ経済政策の要点整理①	岩淵 修
第45回	マクロ経済政策の要点整理②	岩淵 修
準備学習等	事前に講義内容を確認してから問題を解き、解けなかった問題や不明な点は、再度、理論内容をテキスト、ノートで復習することが大切となる。	
教科書 参考書等	テキスト経済学Ⅱ、実戦問題集Ⅱ（大原出版株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	1 学年

科目名	財政学		授業形態		講義			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	岩 淵 修		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員						:		%
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		現代の経済社会において重要な役割を果たしている財政を理論面、制度面、政策面から理解するとともに、日本の一般会計予算や地方財政などの財政事情を把握し、同時に財政の国際比較をおこない、日本の現状を理解する。						
授業計画								
回数	授業内容						科目教員	
第1回	財政の三機能と財政の学説史						岩 淵 修	
第2回	予算原則と予算制度						岩 淵 修	
第3回	予算制度と予算過程						岩 淵 修	
第4回	日本の一般会計当初予算の現状						岩 淵 修	
第5回	社会保障関係費などの財政事情						岩 淵 修	
第6回	財政投融资						岩 淵 修	
第7回	租税と租税原則						岩 淵 修	
第8回	租税理論と負の所得税						岩 淵 修	
第9回	日本の租税制度と財政事情①						岩 淵 修	
第10回	日本の租税制度と財政事情②						岩 淵 修	
第11回	国債発行と保有状況						岩 淵 修	

第12回	公債理論（負担の転嫁）	岩淵 修
第13回	日本の財政史	岩淵 修
第14回	地方財政の制度と事情	岩淵 修
第15回	財政事情の国際比較	岩淵 修
準備学習等	最近の傾向として、日本の経済・財政問題や世界の経済・財政問題などの時事に関する出題が多くなっているため、ニュースや新聞等から情報を入手すること。	
教科書 参考書等	テキスト財政学、実戦問題集 財政学（大原出版株式会社）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合があります。	

057.プレゼンテーション能力Ⅰ		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	プレゼンテーション能力Ⅰ		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無		有	授業時間数		30時間			
			単位数		1単位			
科目教員	大庄司文子		授業回数		15回			
			成績 評価 方法	実技試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員	大庄司文子				:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容		パソコンの機能を総合的に学習し、アプリケーションソフトウェアを利用して問題演習を行うことで一連の操作手順を身に付け、業務に役立つ資料等の作成、編集ができる能力を習得する。自治体・官公庁におけるシステム、アプリケーションの知識を学び、実務で活用できるようにする。						
実務経験教員の 実務経験内容		企業にて、OA機器インストラクション業務に従事。各自治体・官公庁で、実務に即したOA機器の活用などのインストラクション業務の実務経験を積んできた。						
授業目的 到達目標		ビジネスシーンを想定したプレゼンテーション能力の向上を目的とする。 ビジネスシーンで即戦力となれるようパワーポイントの基礎知識を身に付け、プレゼンテーション技能認定試験に合格することを到達目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	プレゼンテーション技能（基礎知識）					大庄司文子		
第2回	プレゼンテーション技能（基本操作）					大庄司文子		
第3回	プレゼンテーション技能（環境の設定と変更）					大庄司文子		
第4回	プレゼンテーション技能（書式設定）					大庄司文子		
第5回	プレゼンテーション技能（スライド）					大庄司文子		
第6回	プレゼンテーション技能（ファイル）					大庄司文子		
第7回	プレゼンテーション技能（編集）					大庄司文子		
第8回	プレゼンテーション技能（罫線と表）					大庄司文子		

第9回	プレゼンテーション技能（オブジェクト）	大庄司文子
第10回	プレゼンテーション技能（校閲）	大庄司文子
第11回	プレゼンテーション技能 練習問題①	大庄司文子
第12回	プレゼンテーション技能 練習問題②	大庄司文子
第13回	プレゼンテーション技能 練習問題③	大庄司文子
第14回	プレゼンテーション技能 練習問題④	大庄司文子
第15回	プレゼンテーション技能 練習問題⑤	大庄司文子
準備学習等	基本的に予習は不要。各自のプレゼンテーション能力の習熟度に応じた自主的な演習時間の確保が必要である。	
教科書 参考書等	プレゼンテーション技能認定試験 問題集（サーティファイ）	
備考	授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度、受験級に応じて、一部変更する場合がある。	

学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）
学年	１学年

科目名		公会計		授業形態		講義			
				選必の別		選択			
実務経験のある教員による科目の有無					授業時間数		30時間		
					単位数		1単位		
科目教員		佐藤弘章		授業回数		15回			
				成績 評価 方法	筆記試験		:	70	%
					平常点		:	30	%
							:		%
							:		%
科目教員のうち 実務経験教員							:	%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容									
実務経験教員の 実務経験内容									
授業目的 到達目標		地域住民に対して行政活動の説明・報告、地方議会における予算・決算審議での利用などに必要な情報を財務諸表によって提供できるようになることを目的とする。本科目では地方公会計検定試験に合格できるレベルの知識を身につけることが到達目標となる。							
授業計画									
回数		授業内容					科目教員		
第1回		地方公会計の目的と意義・財務書類					佐藤弘章		
第2回		財務書類（一般会計）の作成手順・仕訳(1)					佐藤弘章		
第3回		仕訳(2)・固定資産台帳の整備、記載内容と記載対象範囲および記載単位					佐藤弘章		
第4回		減価償却・耐用年数等					佐藤弘章		
第5回		資産の評価基準と評価方法					佐藤弘章		
第6回		有形固定資産の具体的評価方法					佐藤弘章		
第7回		固定資産台帳の整備手順					佐藤弘章		
第8回		財務書類の相互関係、帳簿記入の流れ					佐藤弘章		

第9回	総合問題演習	佐藤弘章
第10回	総合問題演習	佐藤弘章
第11回	総合問題演習	佐藤弘章
第12回	過去問題演習	佐藤弘章
第13回	過去問題演習	佐藤弘章
第14回	過去問題演習	佐藤弘章
第15回	過去問題演習	佐藤弘章
準備学習等	・ 予習の必要はない。各回の授業を必ず受講し、知識が定着するまで復習すること。	
教科書 参考書等	・ 地方公会計検定教科書/問題集（大原出版株式会社）	
備考	・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する場合がある。	

059.応用自然科学演習		学科	行政公務員学科（１年課程）・法律公務員学科（１年課程）・ 総合公務員学科（１年課程）					
		学年	1 学年					
科目名	応用自然科学演習		授業形態		演習			
			選必の別		選必			
実務経験のある教員による科目の有無				授業時間数		30時間		
				単位数		1単位		
科目教員	吉沢康太、佐藤弘章		授業回数		15回			
			成績評価方法	筆記試験		:	70	%
				平常点		:	30	%
						:		%
						:		%
科目教員のうち 実務経験教員					:		%	
実務経験教員の 実務経験に関する 授業内容								
実務経験教員の 実務経験内容								
授業目的 到達目標		公務員試験に出題される自然科学分野（生物・地学）の対策を目的として、問題演習 を中心に様々な問題に対応できる学力を養うことを目標とする。						
授業計画								
回数	授業内容					科目教員		
第1回	生物（生体の構造）					吉沢康太 佐藤弘章		
第2回	生物（生体内の代謝）					吉沢康太 佐藤弘章		
第3回	生物（生殖と発生）					吉沢康太 佐藤弘章		
第4回	生物（遺伝と多様性）					吉沢康太 佐藤弘章		
第5回	生物（刺激と受容と反応）					吉沢康太 佐藤弘章		
第6回	生物（体内環境の恒常性と調節）					吉沢康太 佐藤弘章		
第7回	生物（生物の集団）					吉沢康太 佐藤弘章		
第8回	生物（生物の進化と系統）					吉沢康太 佐藤弘章		
第9回	地学（地球の姿と動く大地Ⅰ）					吉沢康太 佐藤弘章		
第10回	地学（地球の姿と動く大地Ⅱ）					吉沢康太 佐藤弘章		
第11回	地学（岩石）					吉沢康太 佐藤弘章		
第12回	地学（大気と海洋Ⅰ）					吉沢康太 佐藤弘章		
第13回	地学（大気と海洋Ⅱ）					吉沢康太 佐藤弘章		

第14回	地学（太陽系と宇宙の構造Ⅰ）	吉沢康太 佐藤弘章
第15回	地学（太陽系と宇宙の構造Ⅱ）	吉沢康太 佐藤弘章
準備学習等	・ 予習は不要。各回の授業を必ず受講し、知識が定着するまで復習すること	
教科書 参考書等	・ スタンダード問題集自然科学 問題編/解答解説編（大原学園） ・ テキスト 生物/レジュメ生物（大原出版株式会社） ・ テキスト地学/レジュメ地学（大原出版株式会社） ・ 模擬試験（大原出版株式会社） ・ Monoxer（モノグサ株式会社）	
備考	・ 授業計画の各回の内容等については、受講生の理解度や進捗度に応じて、一部変更する可能性がある。また、状況に応じてオンライン形式、オンデマンド形式で授業の一部を提供する可能性がある。	